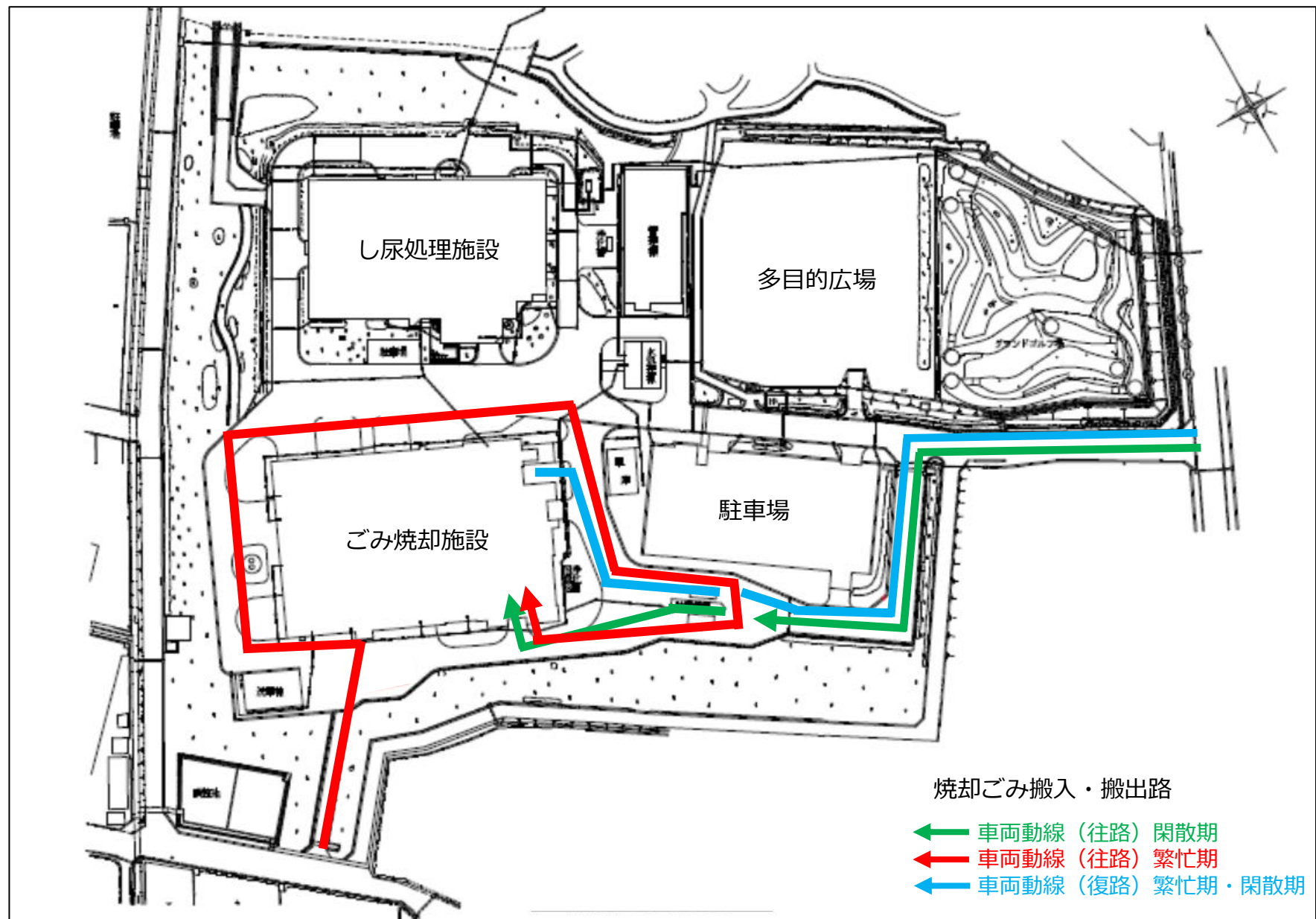
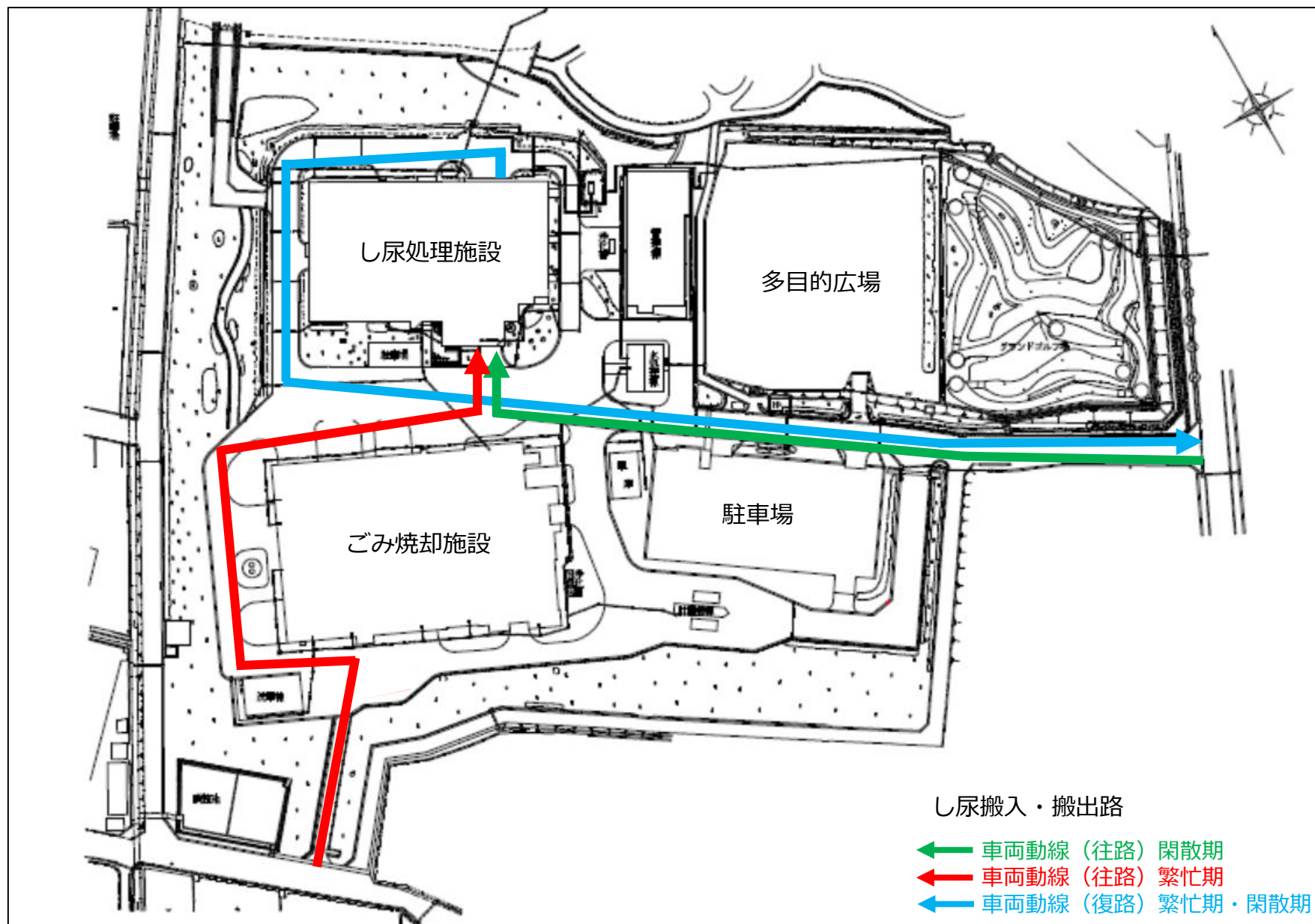
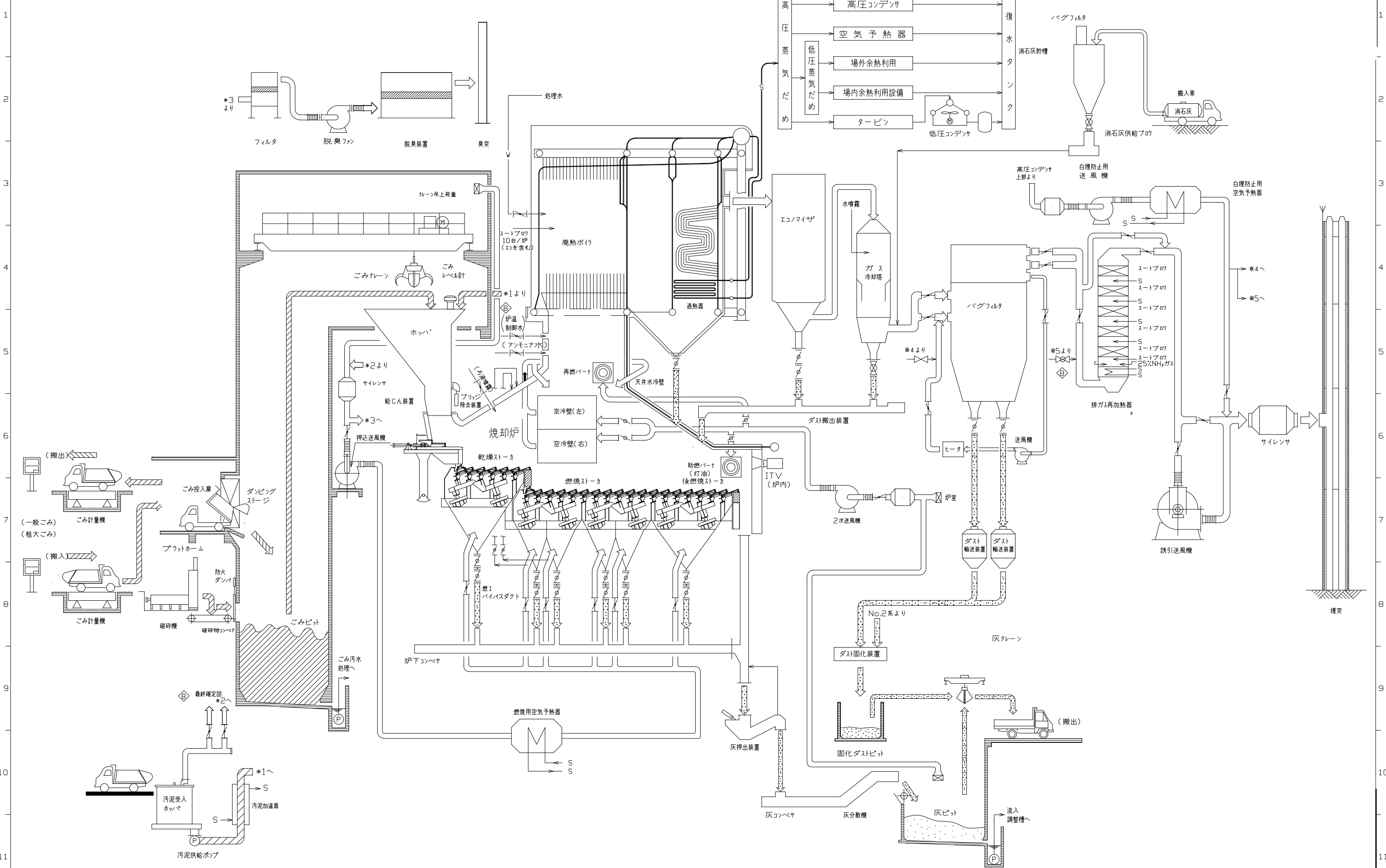


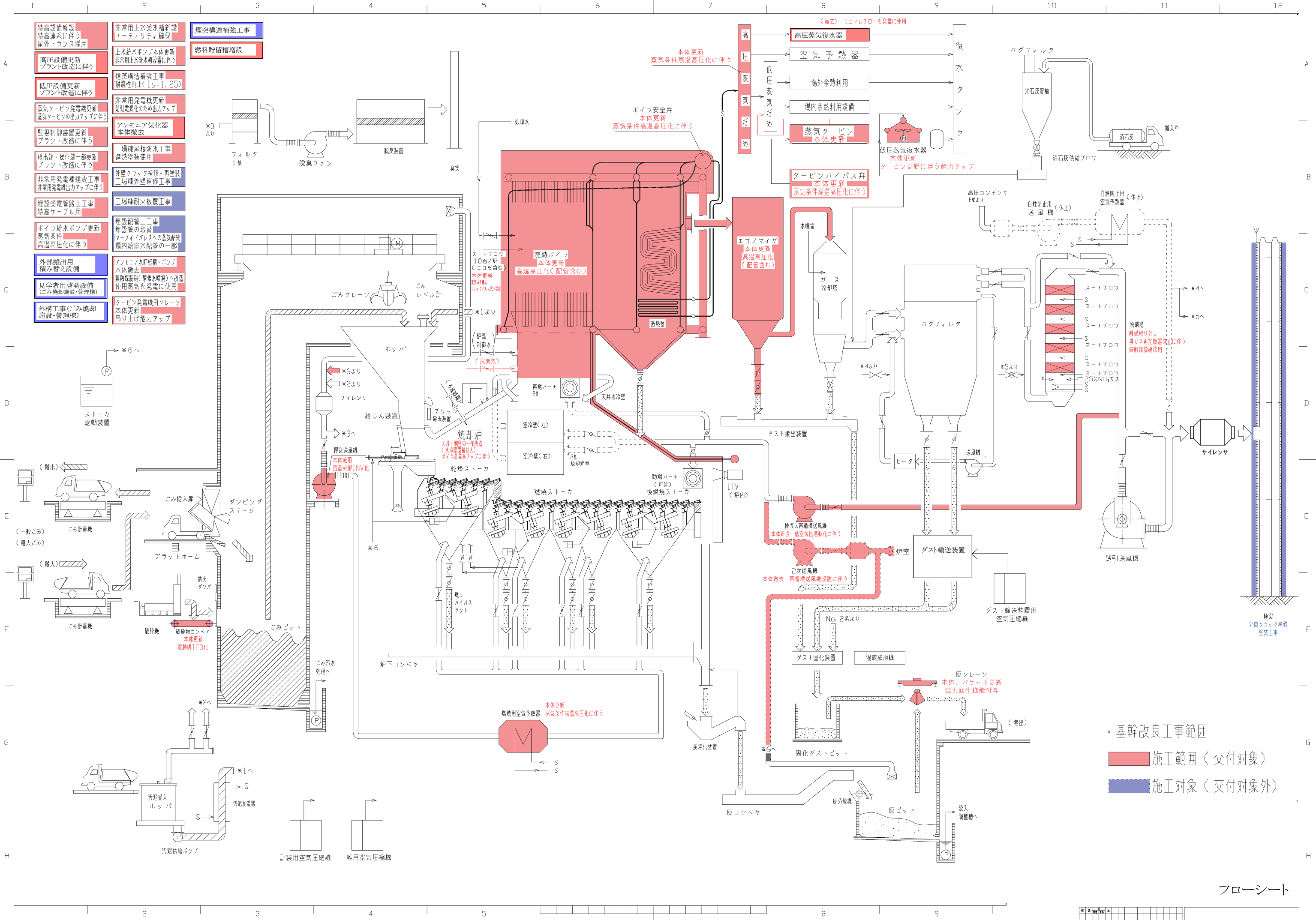




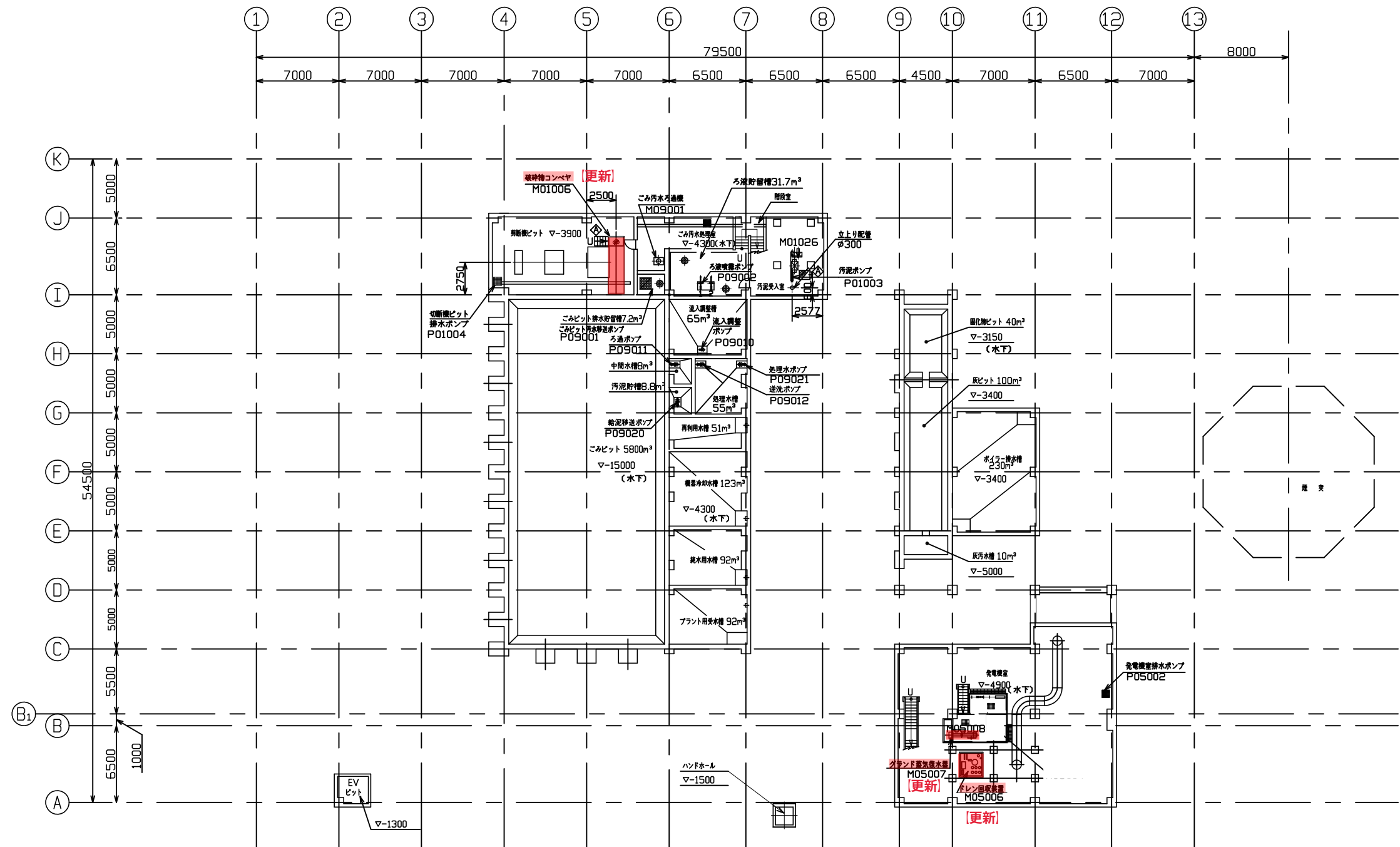
要求水準書添付資料ー3 フローシート（既設・基幹の設備改良工事後）



要求水準書添付資料-3 フローシート（既設・基幹的設備改良工事後）



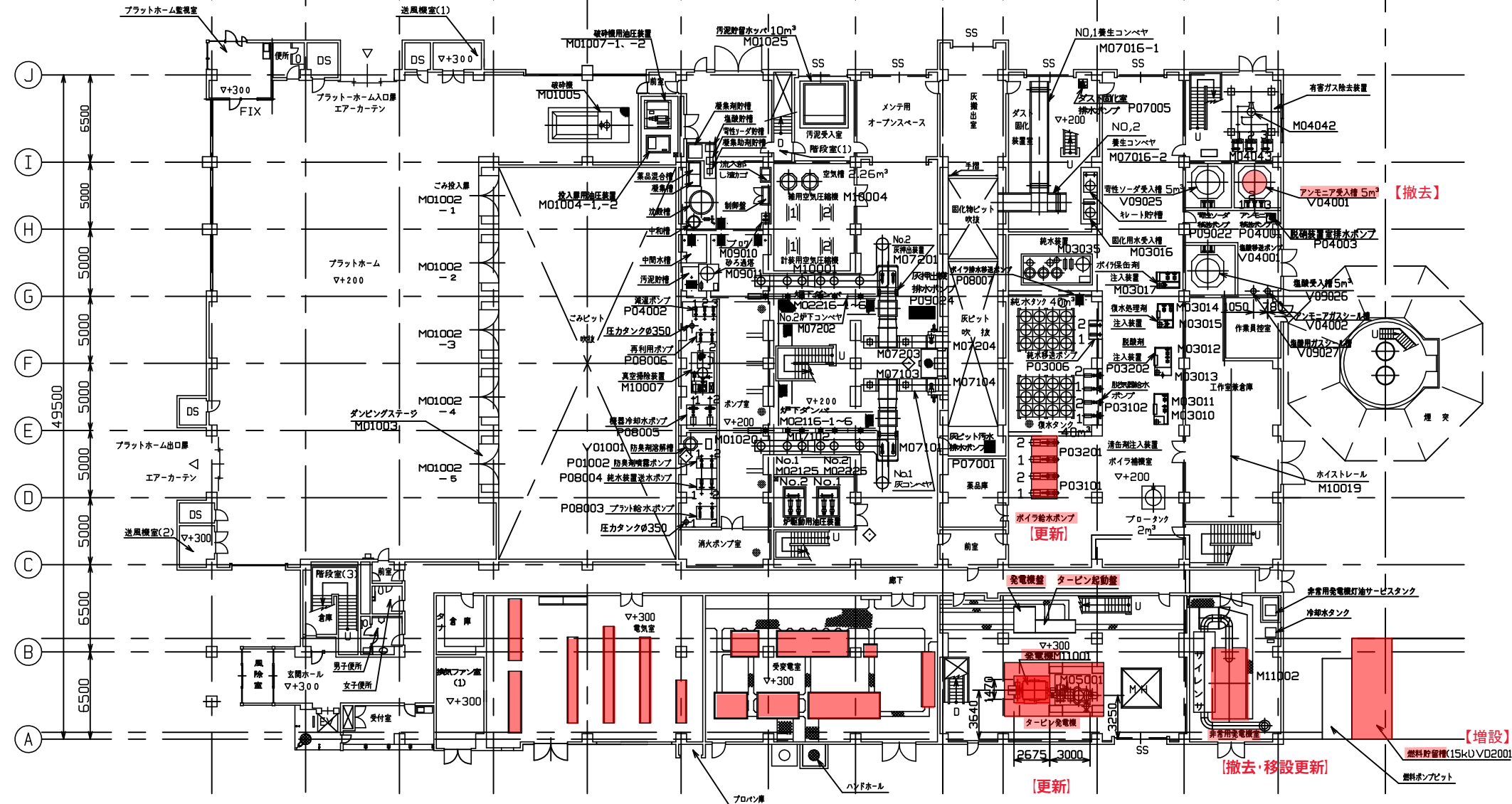
要求水準書添付資料－4 機器配置図



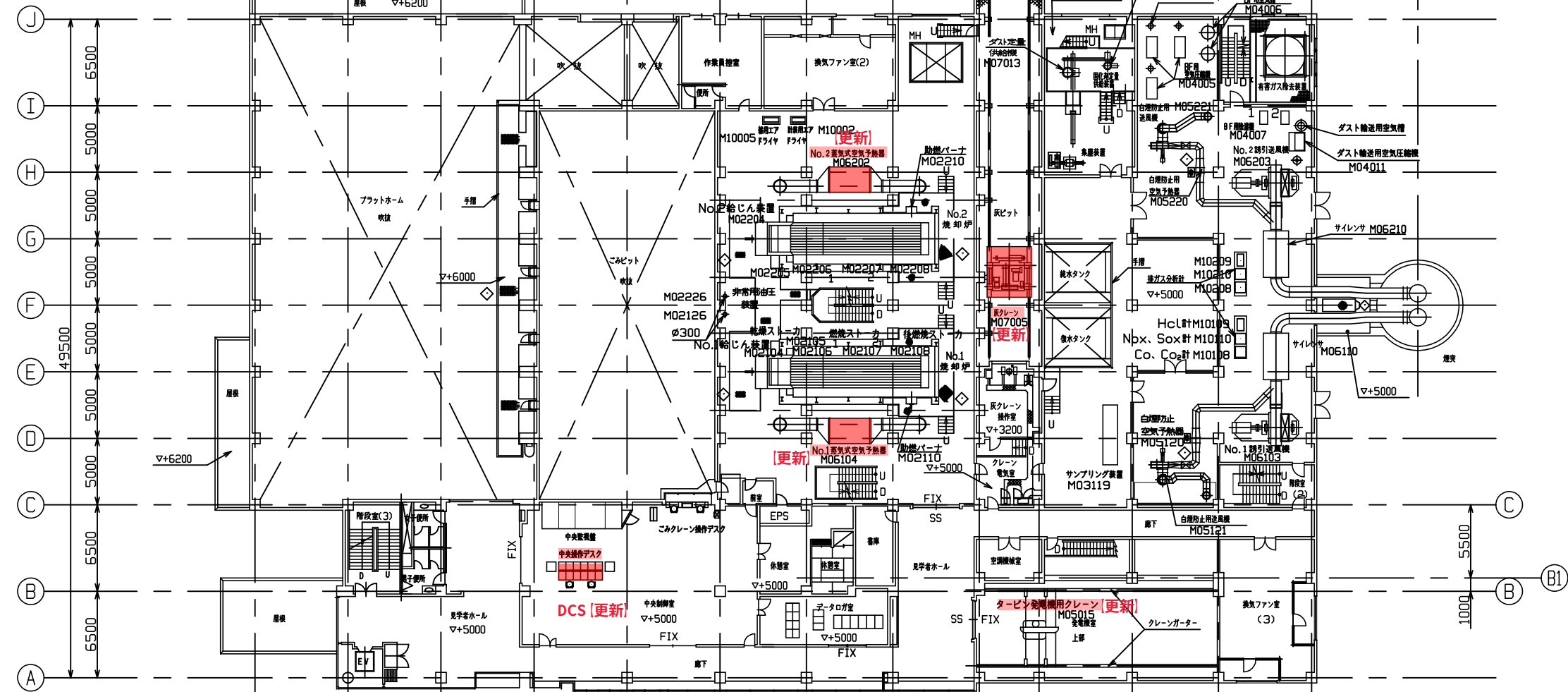
地下平面装置図(1:200)

■基幹改良対象設備

[illegible]

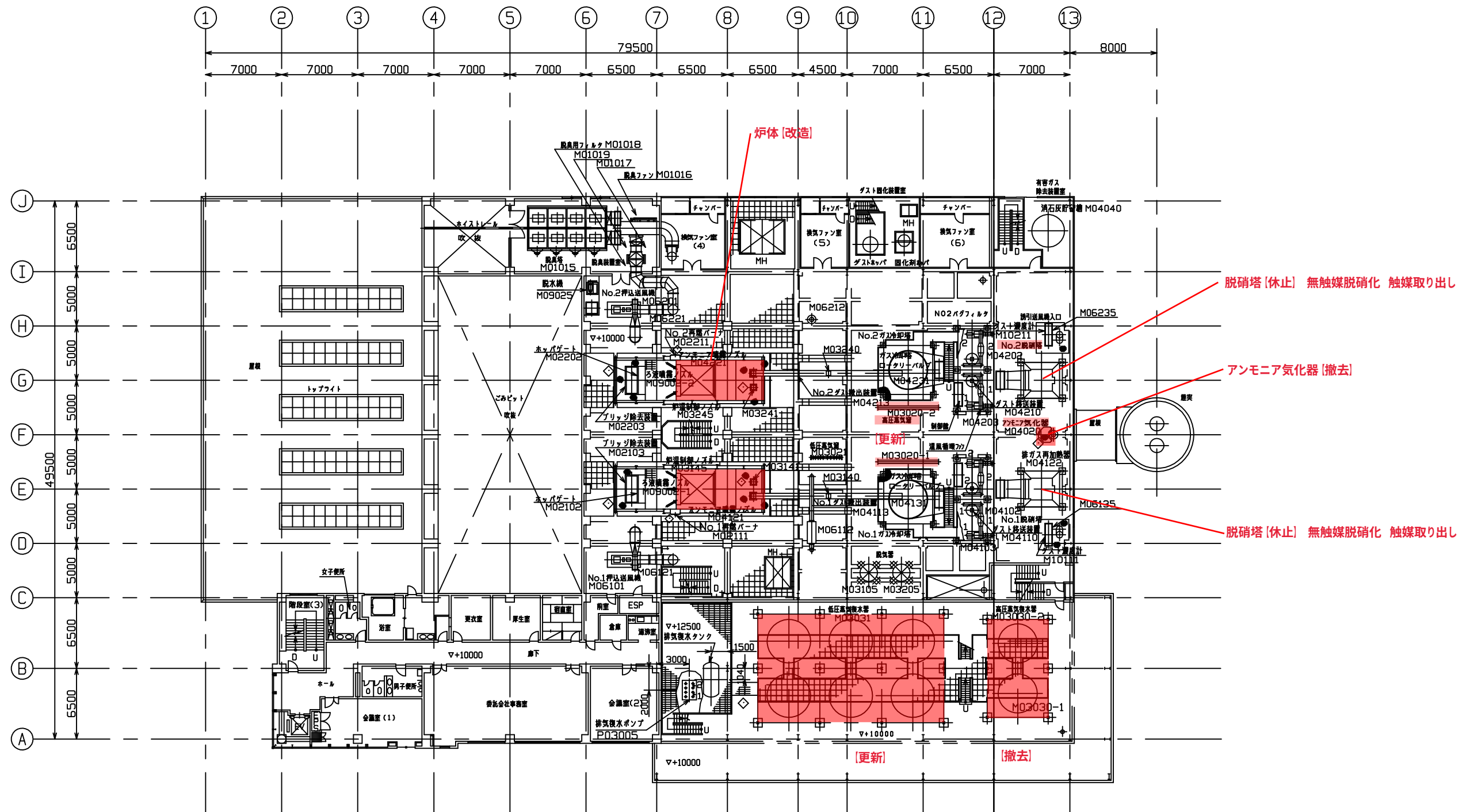


1階平面装置図(1:200)
■基幹改良対象設備



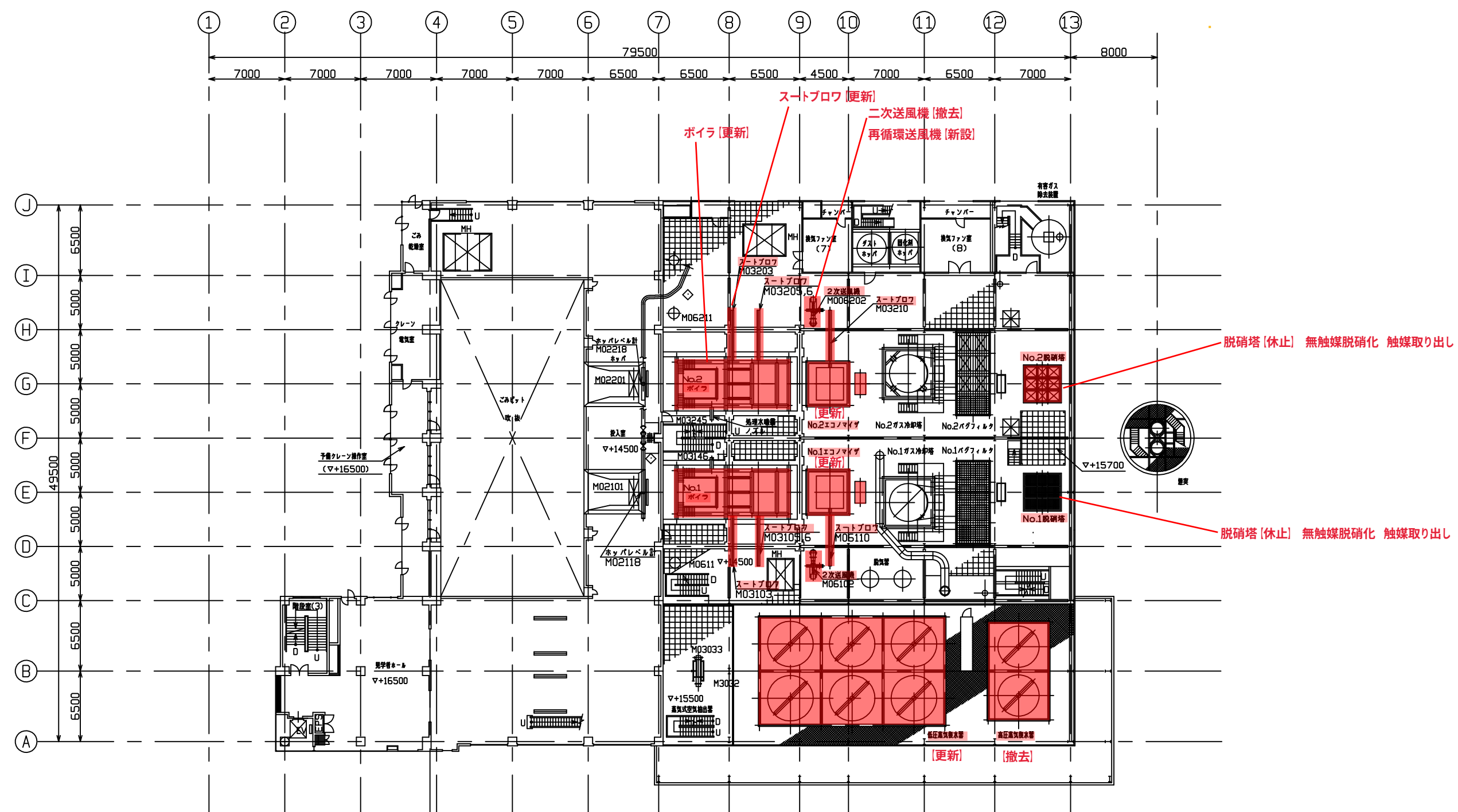
2階平面装置図(1:200)

[illegible]



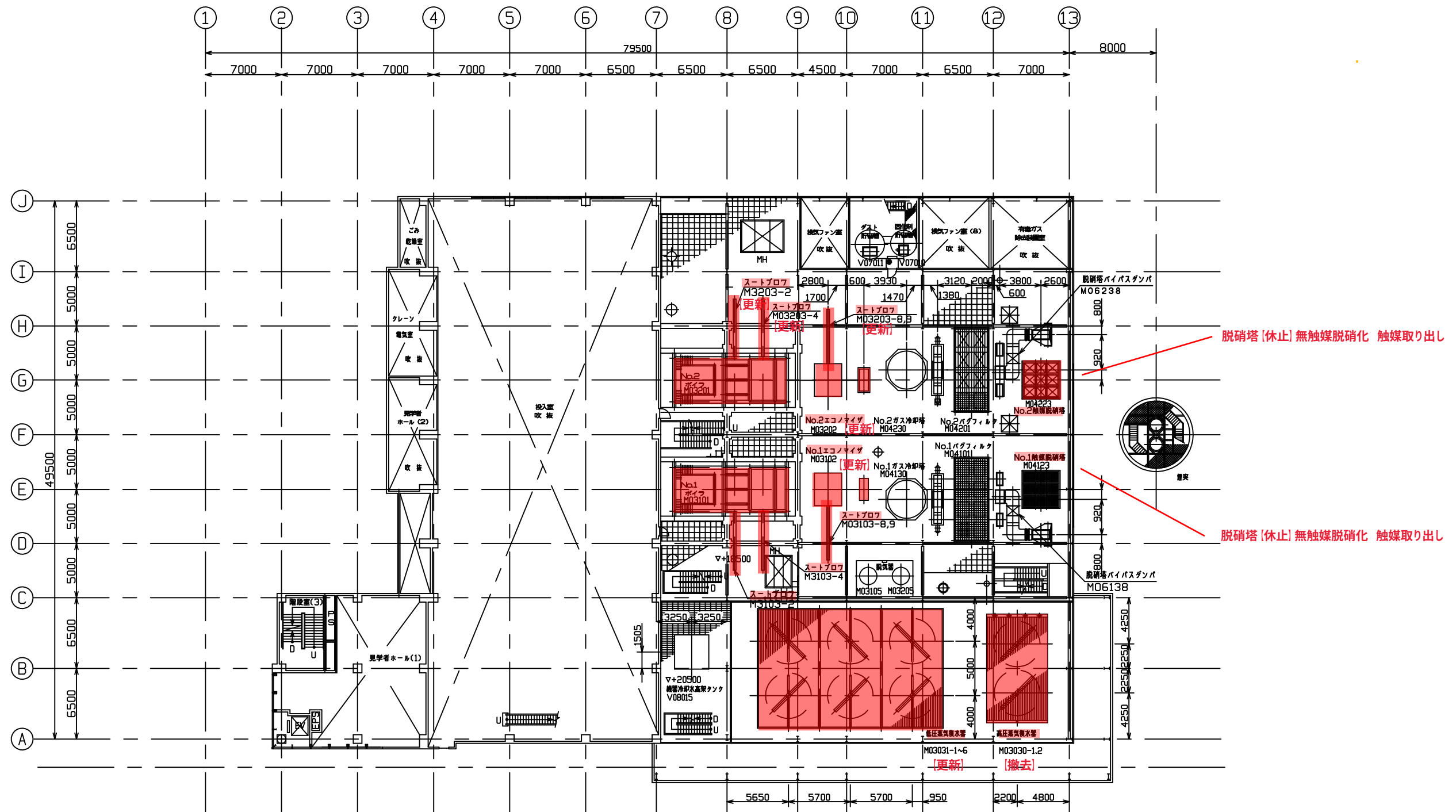
3階平面装置図(1:200)

■基幹改良対象設備



4階平面装置図(1:200)
■基幹改良対象設備

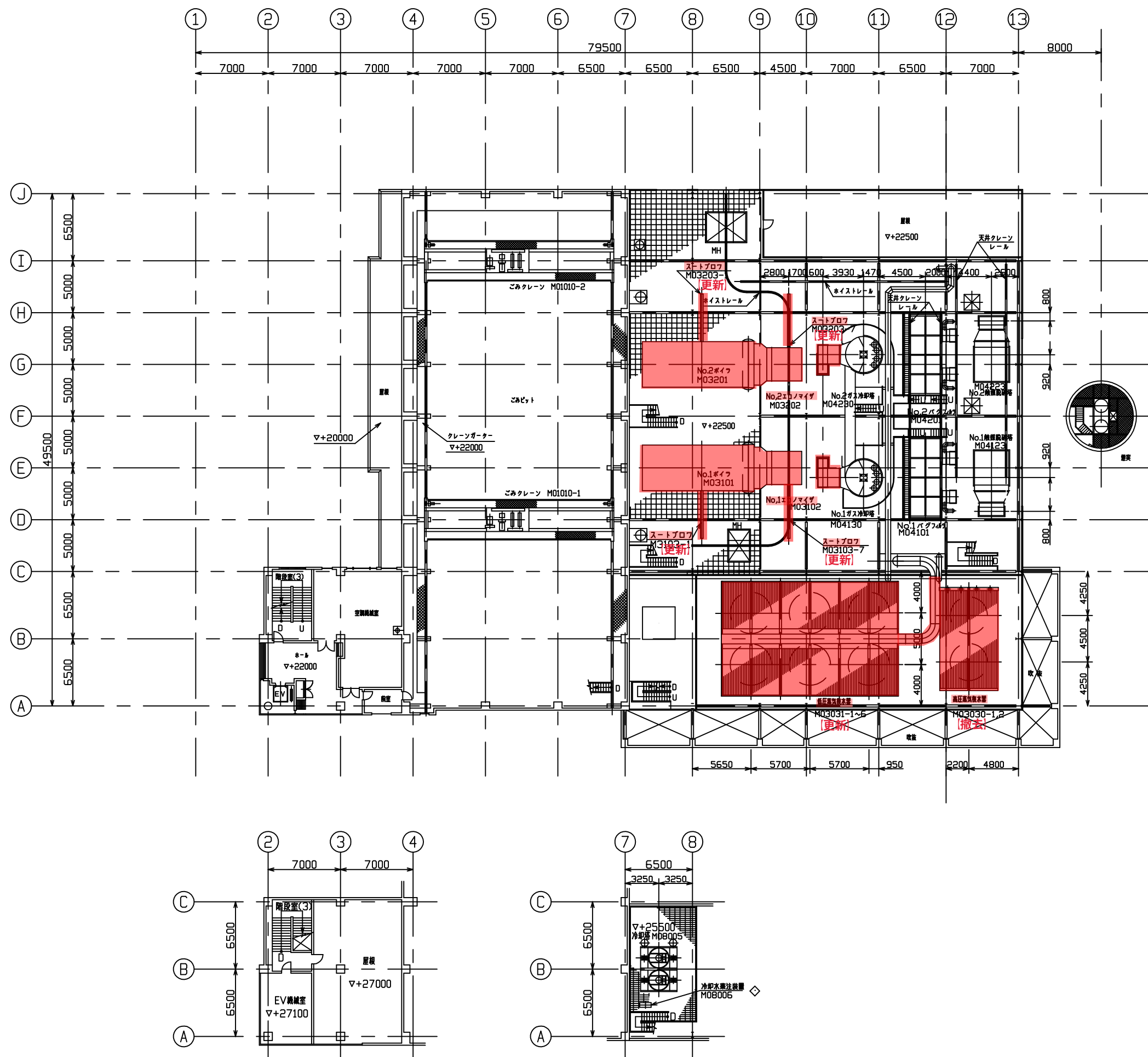
要求水準書添付資料－4 機器配置図



▽+18,500平面装置図(1:200)

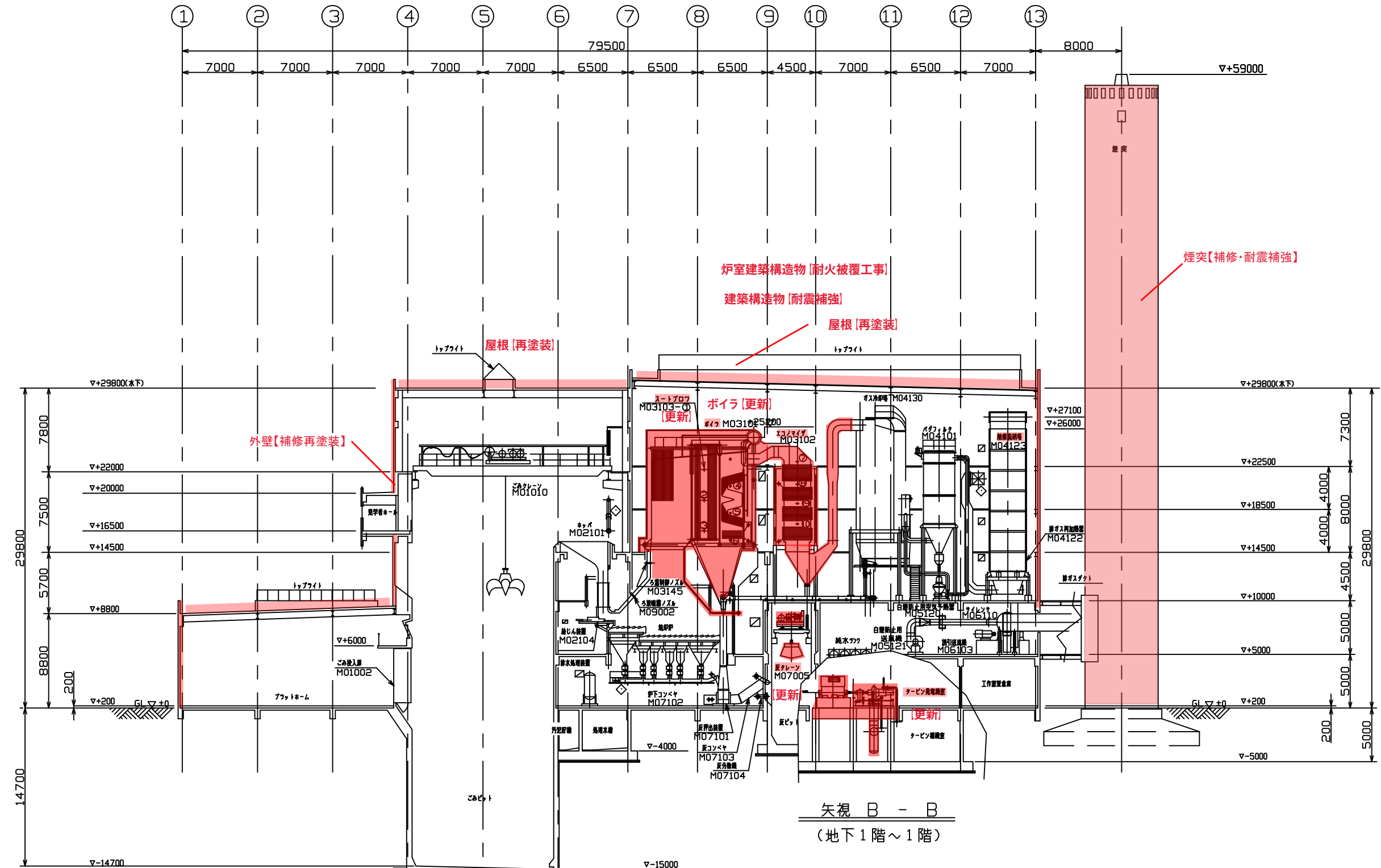
■基幹改良対象設備

要求水準書添付資料－4 機器配置図



5階平面装置図(1:200)

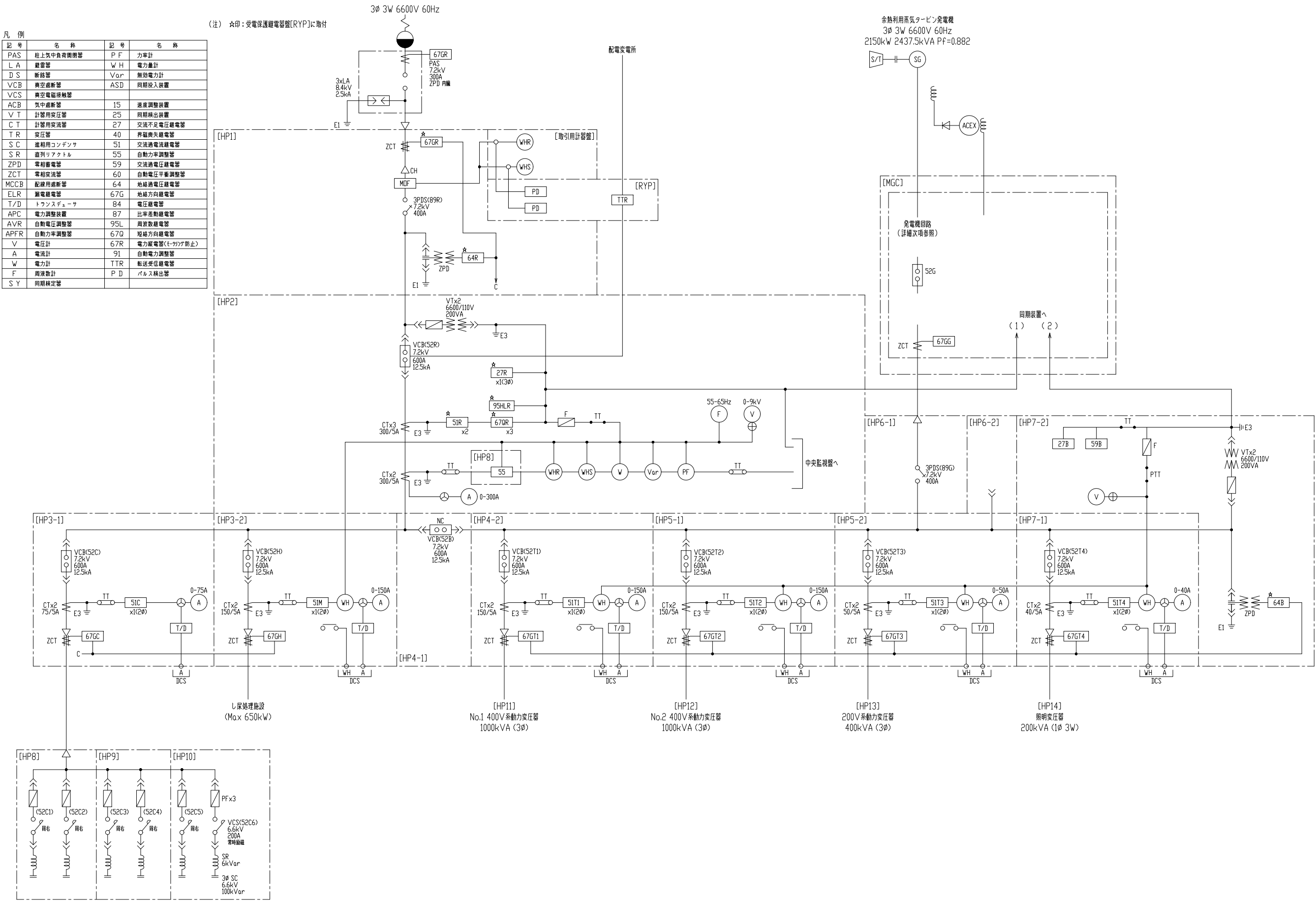
■基幹改良対象設備



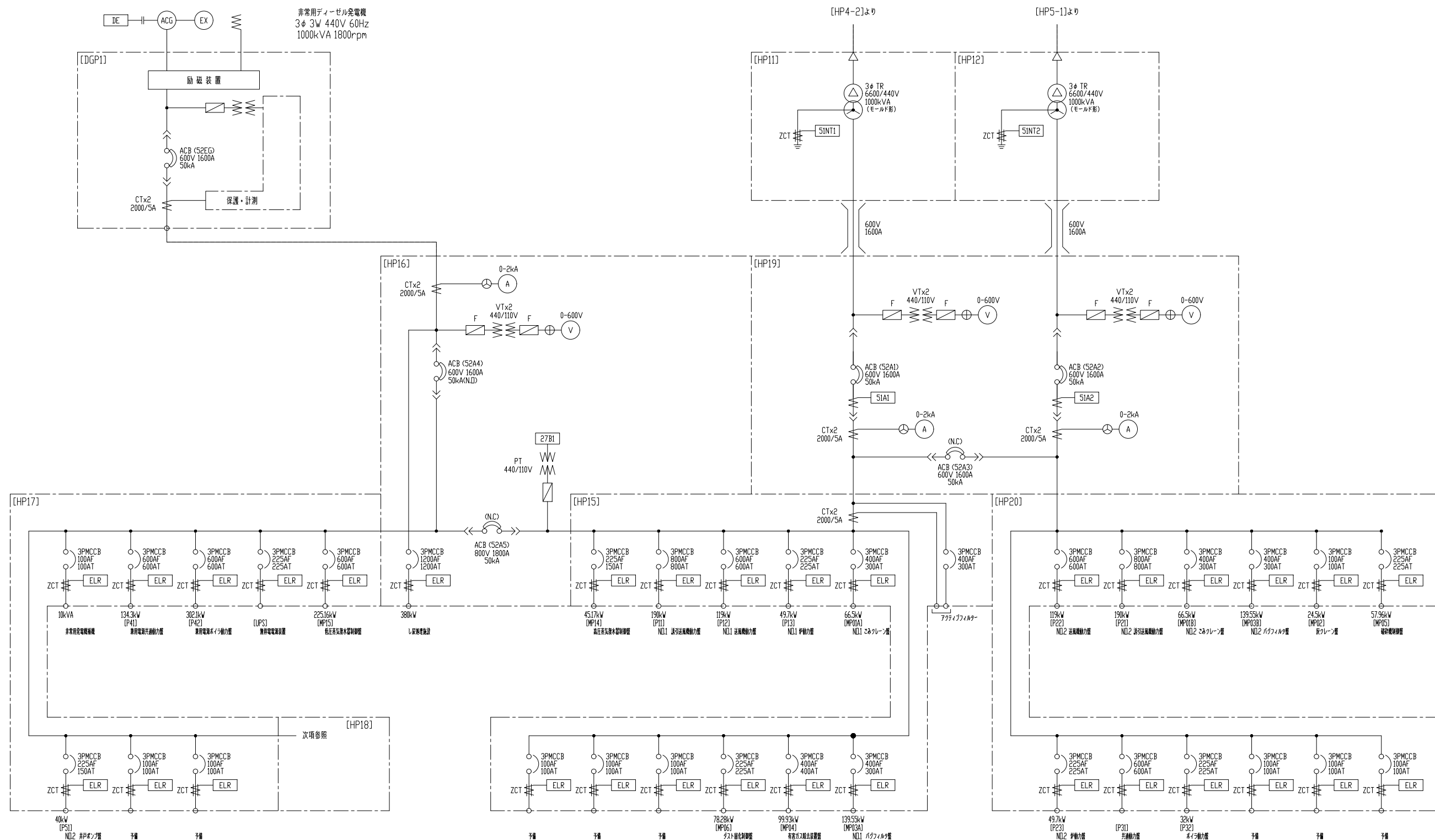
矢視 B - B
(地下1階～1階)

矢視 $A - A$

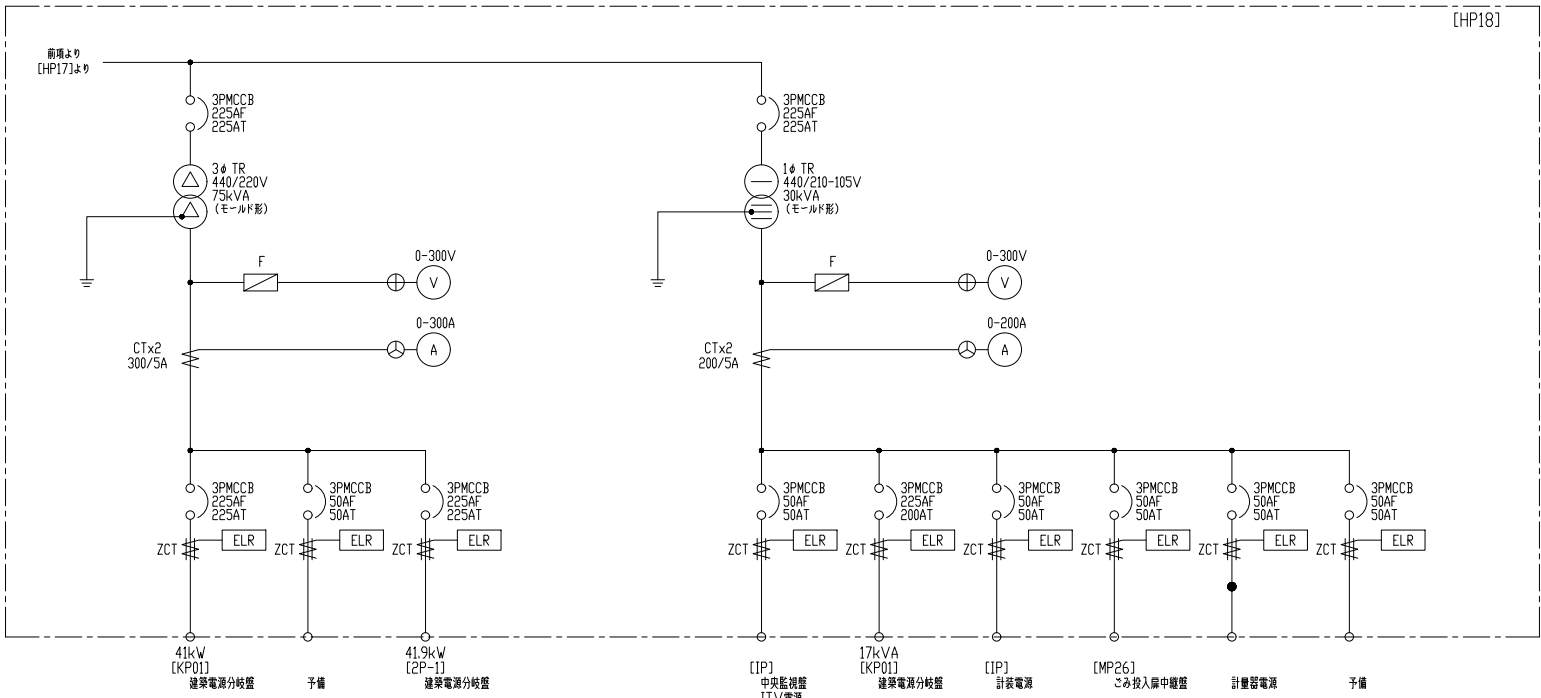
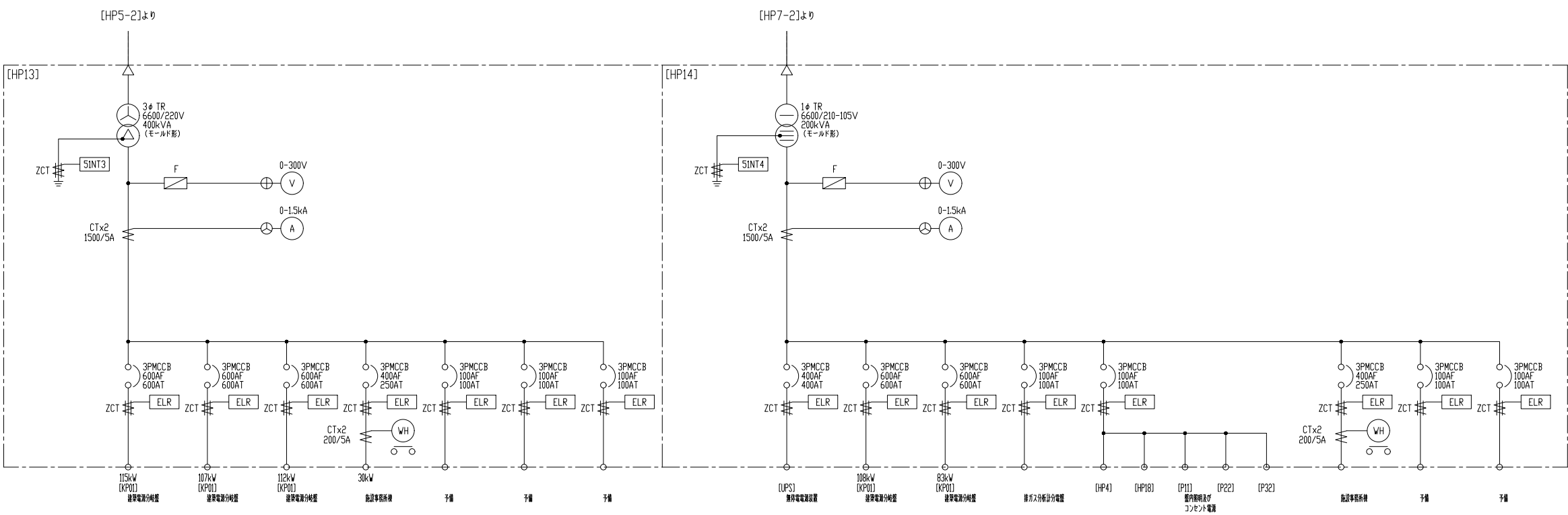
断面装置図(1:200)
■基幹改良対象設備



要求水準書添付資料－ 5 単線結線図



要求水準書添付資料－5 単線結線図



訂正

安城市環境クリーンセンター

業務名

製図

平成28年6月

作図者

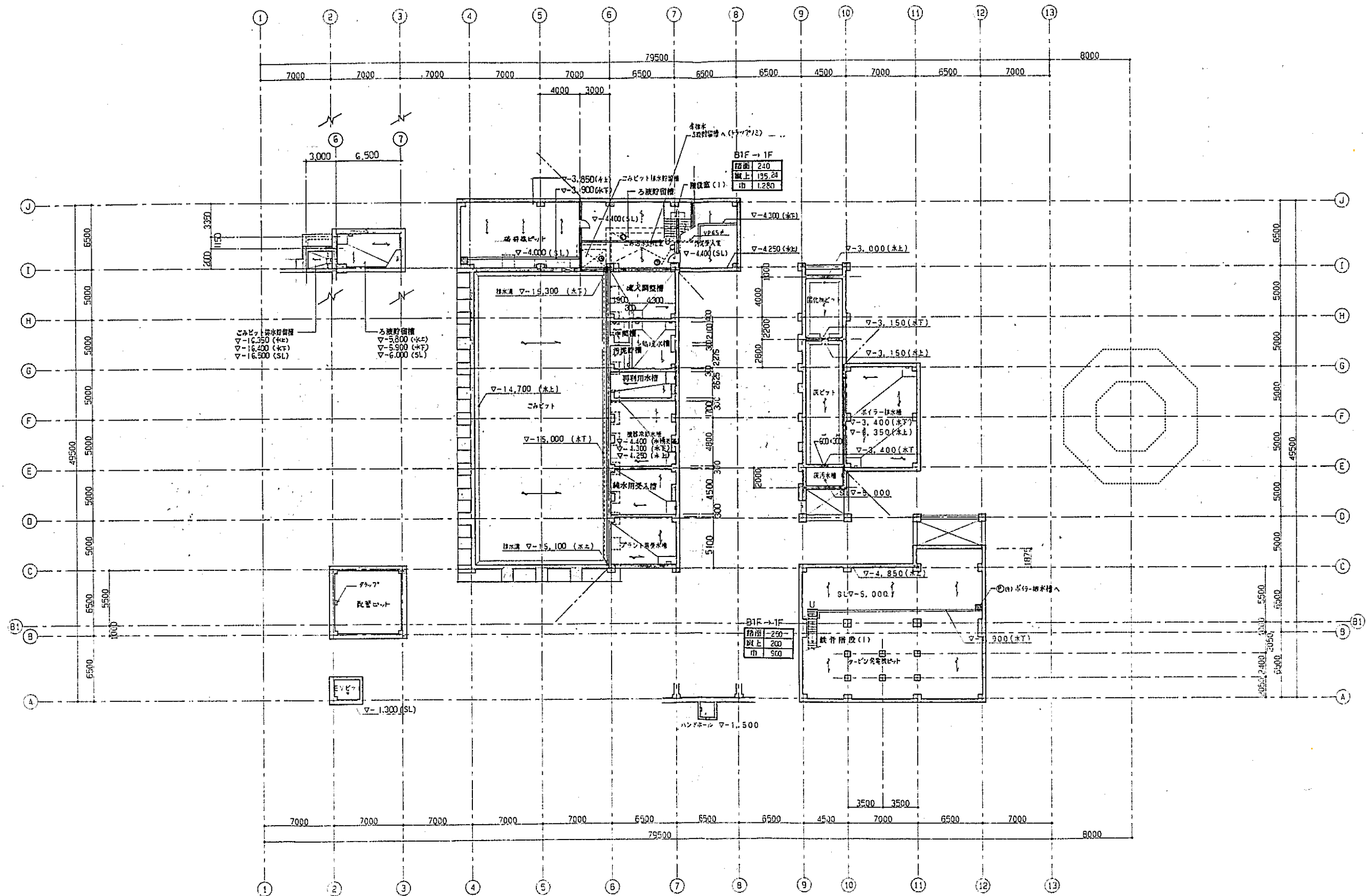
図面名称

ごみ焼却施設受変電設備単線結線図3／3

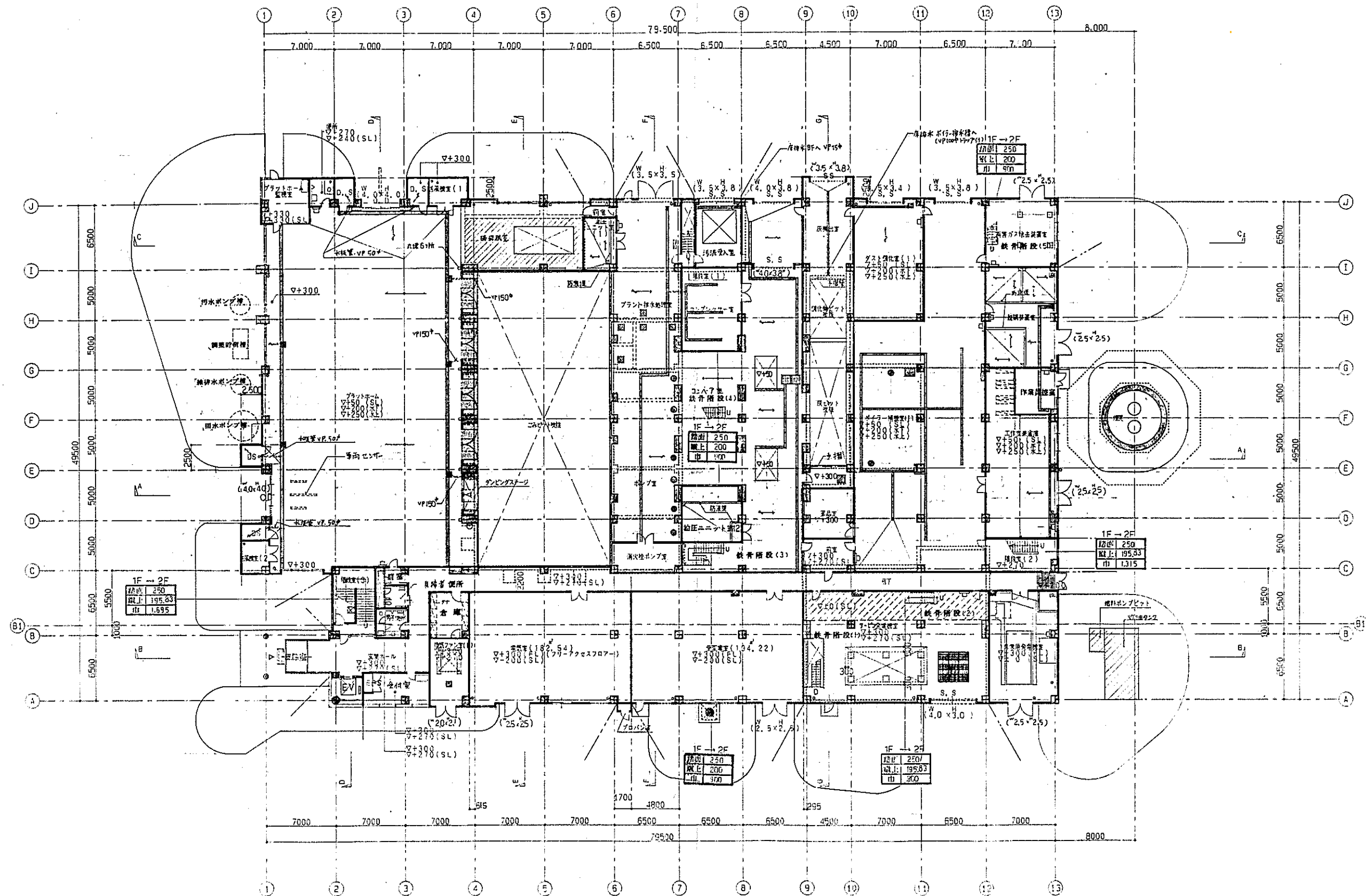
縮尺

NS

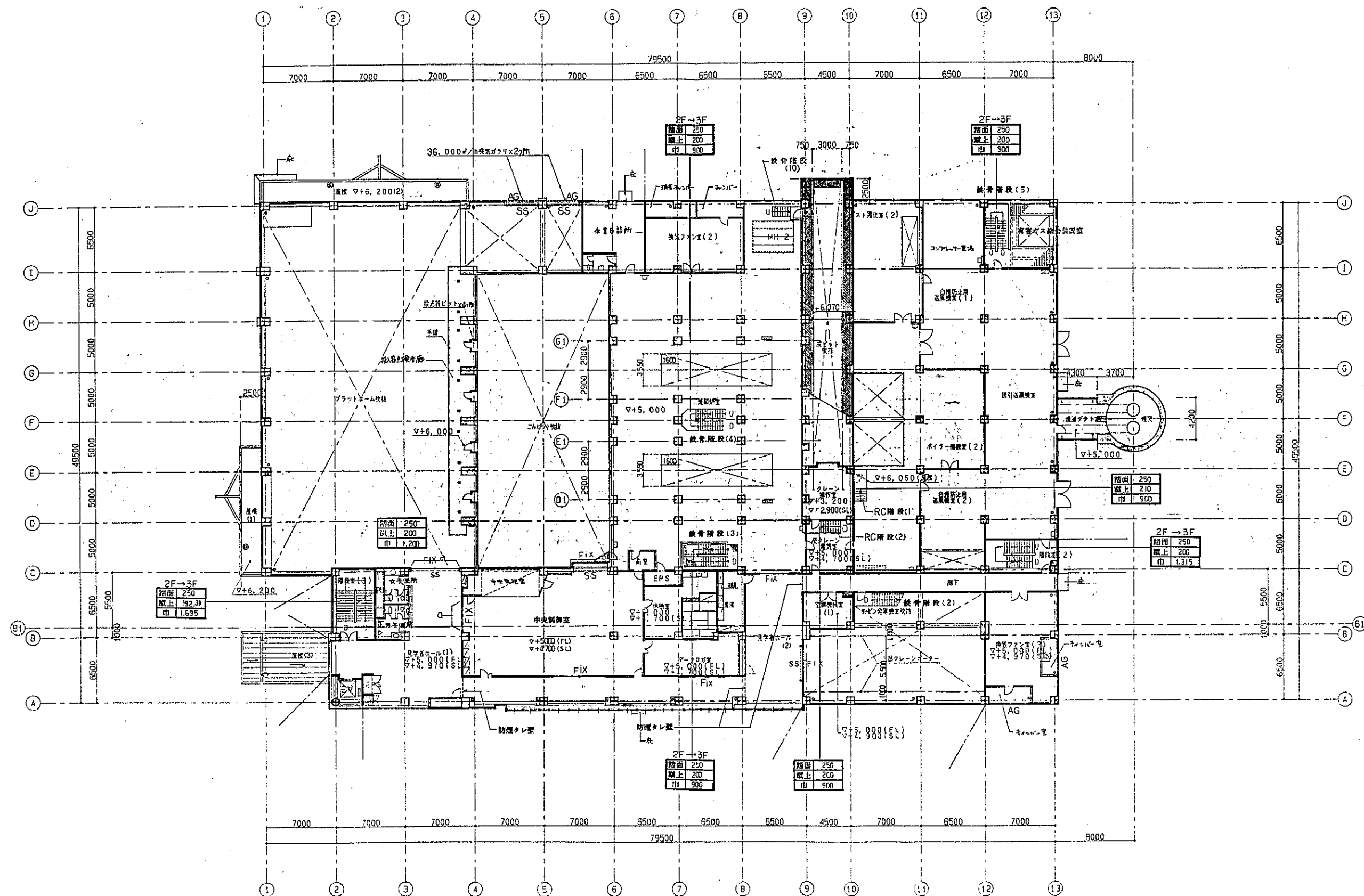
図面番号



地下平面図(1:200)

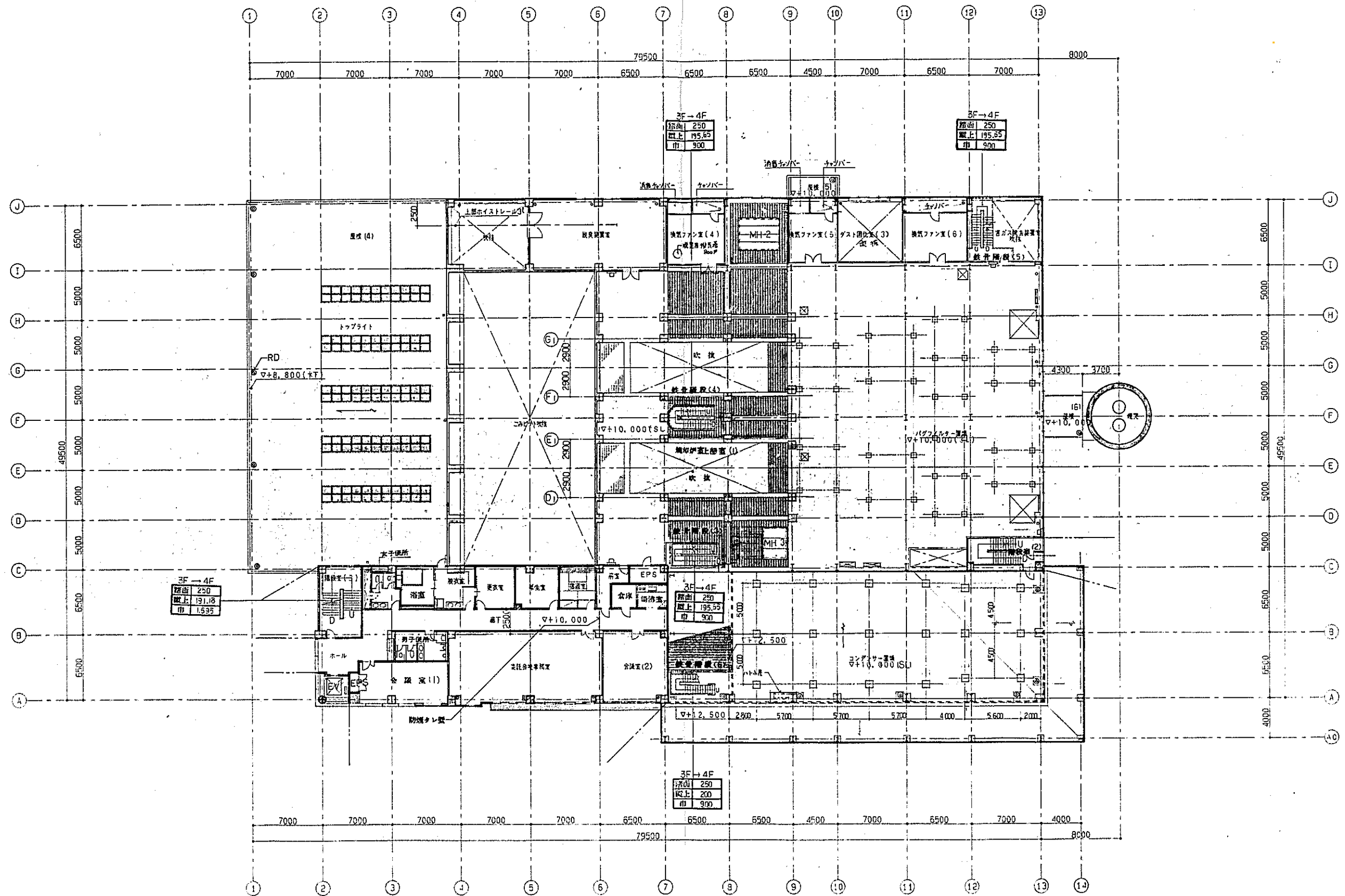


1階平面図(1:200)

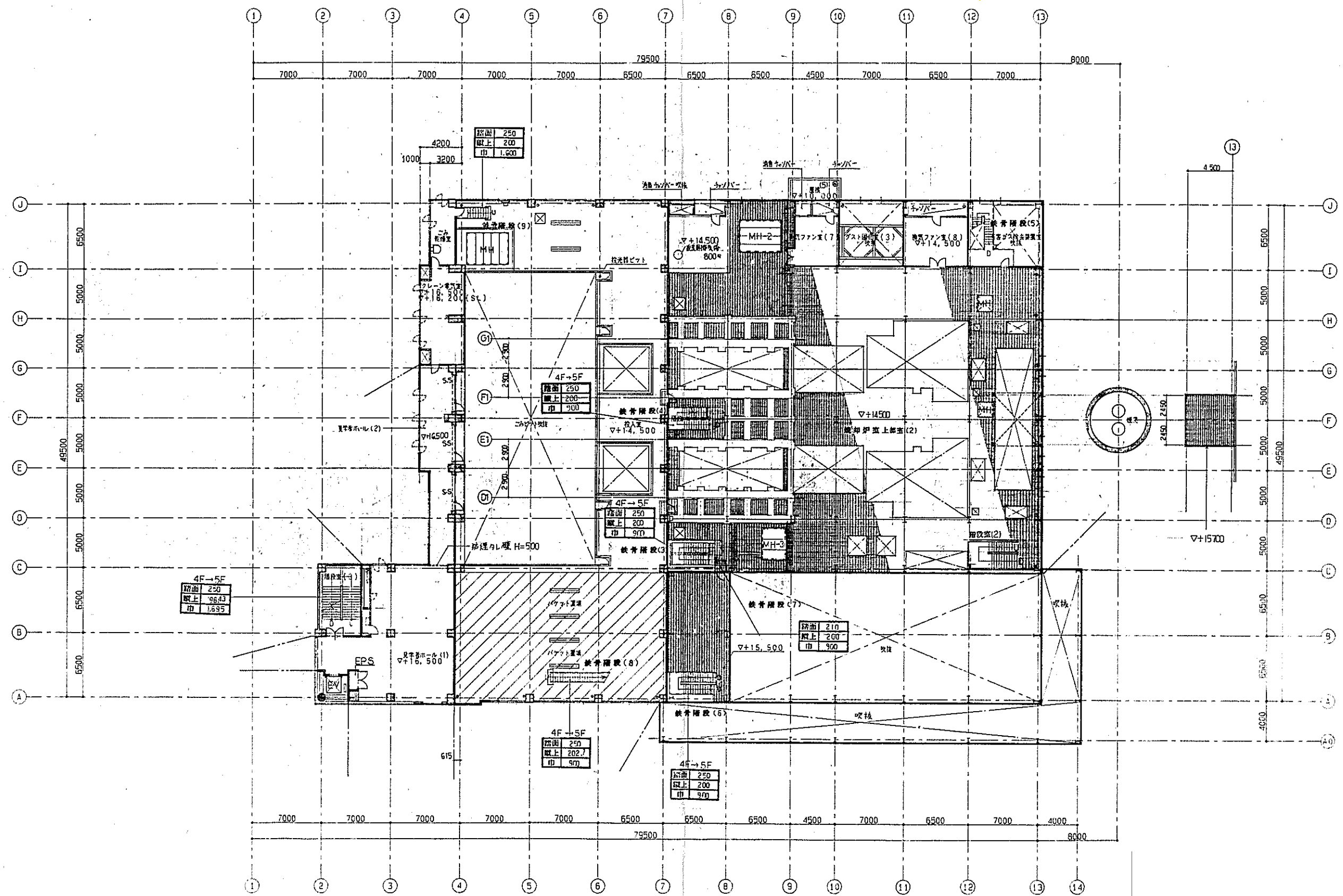


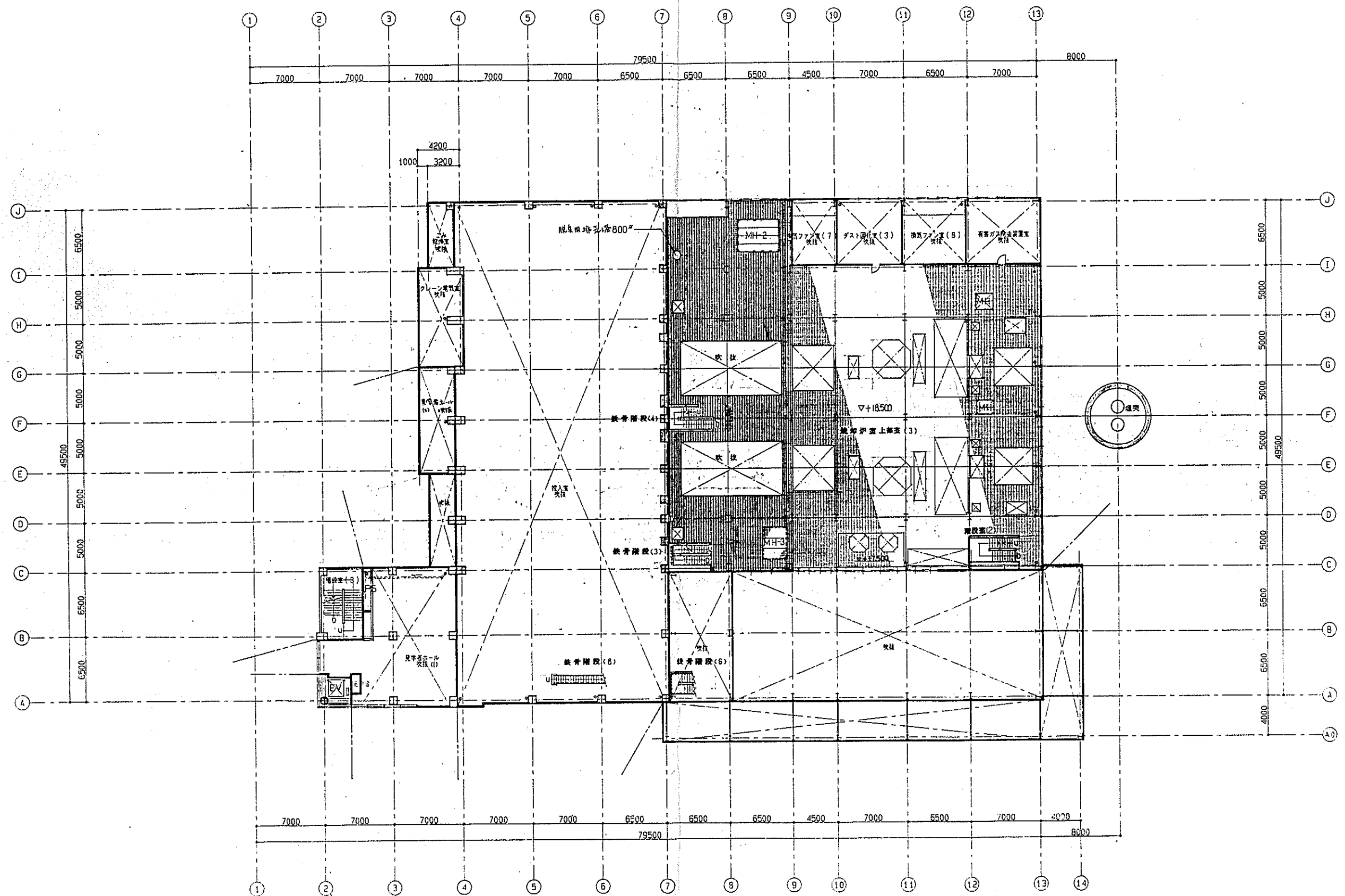
2階平面図(1:200)

中央制御盤挿入口を示す。
盤挿入位、盤位打止時。(2.5×2.5以上)

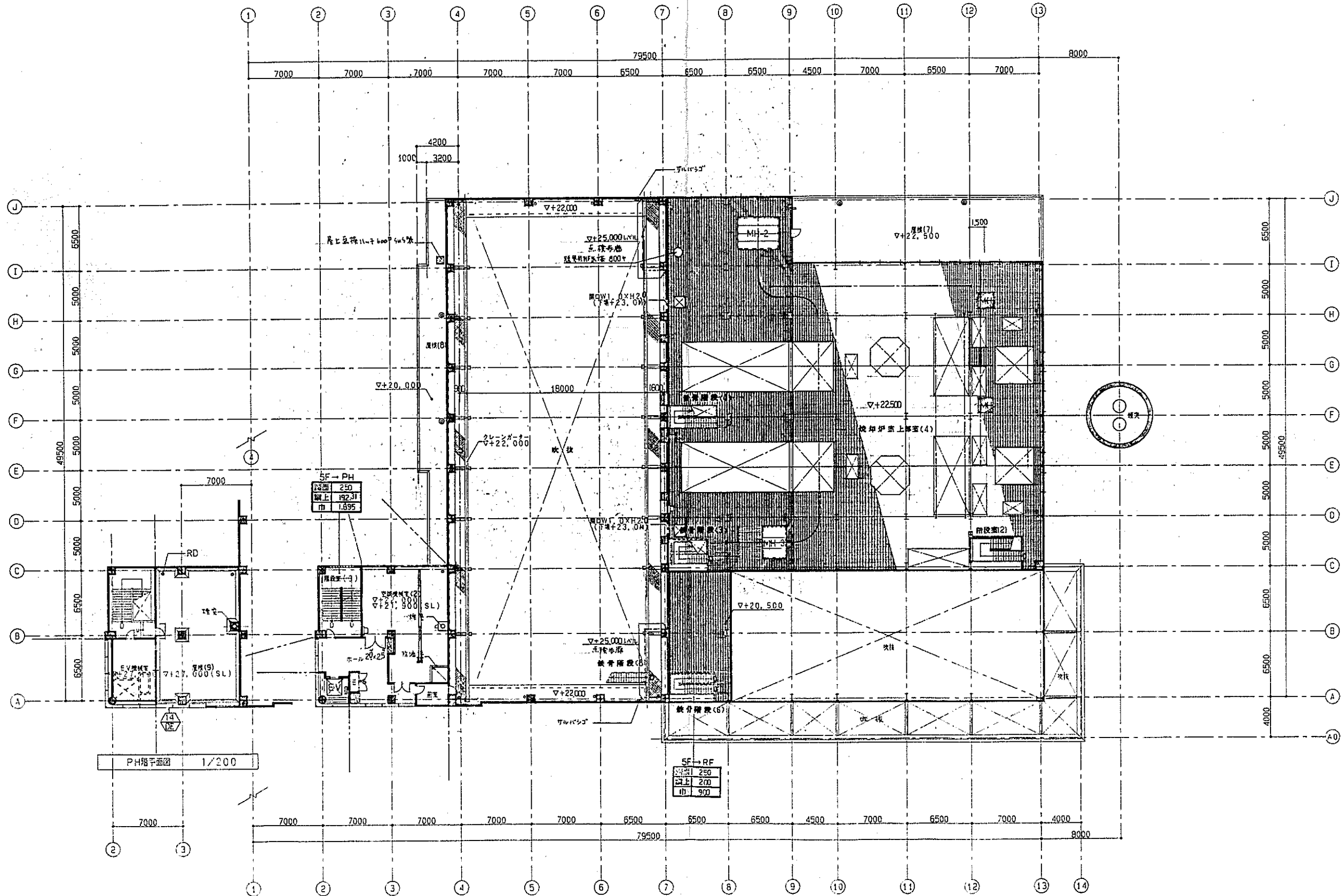


3階平面図(1:200)

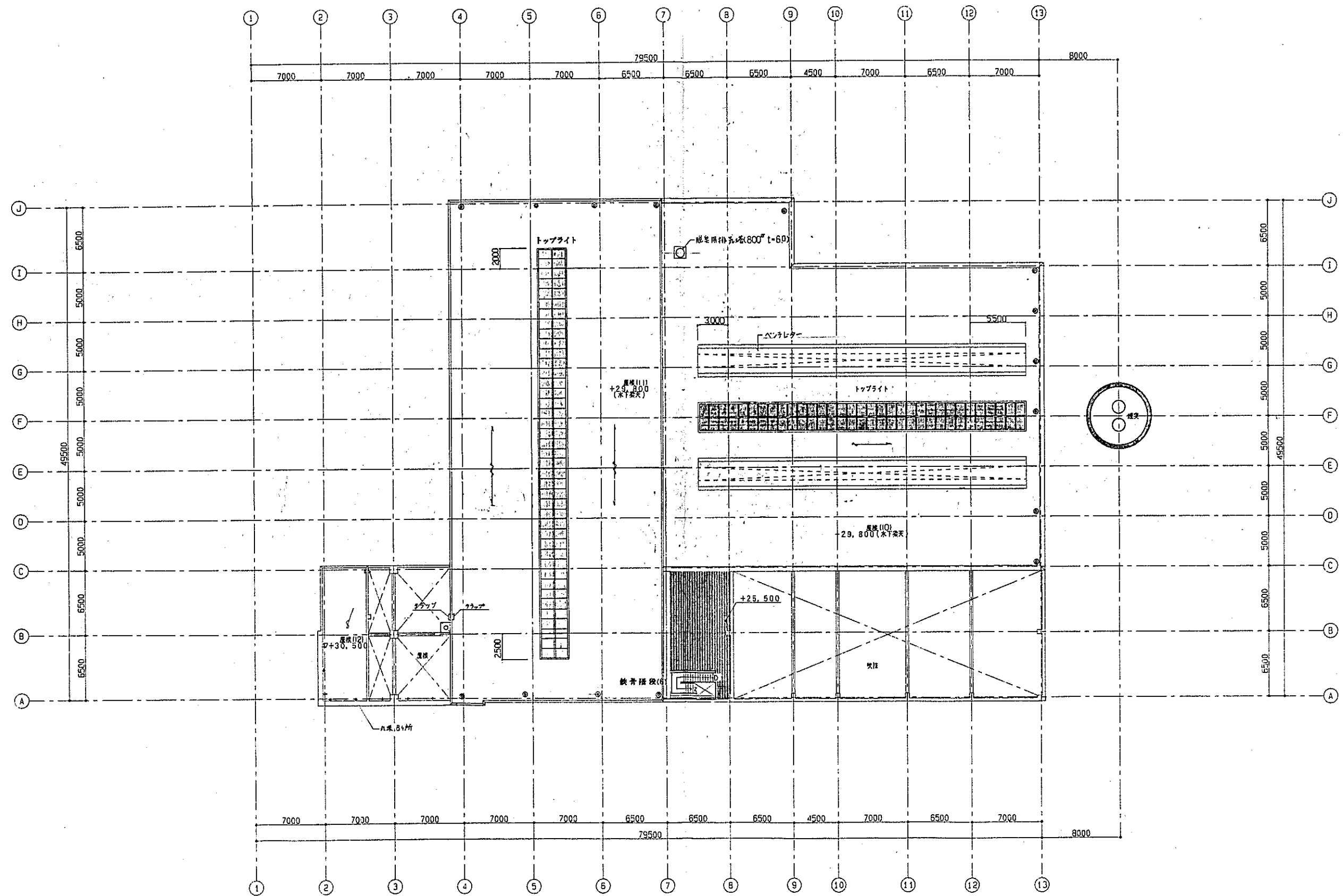




▽+18,500レベル平面図(1:200)

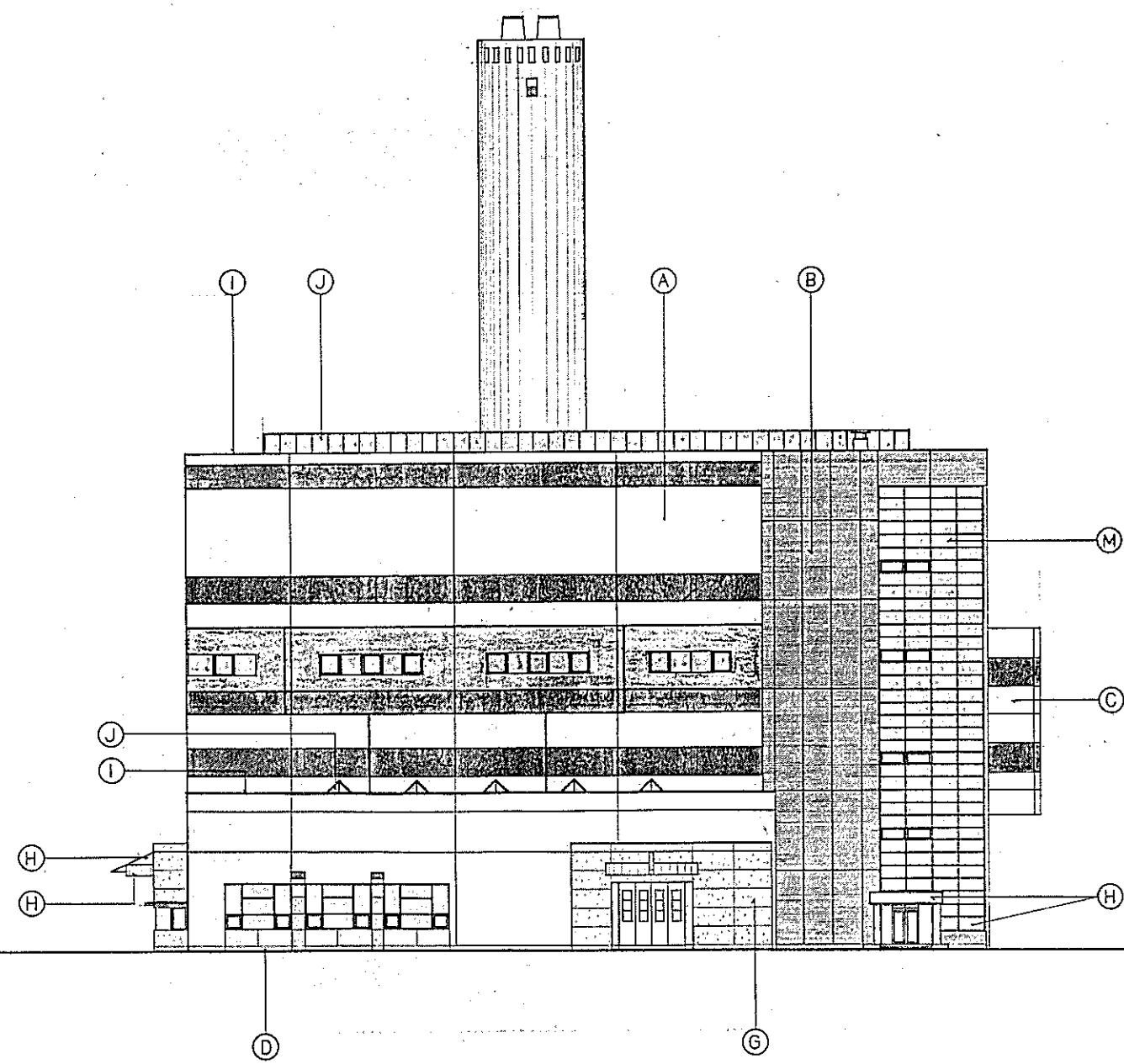


5階平面図(1:200)

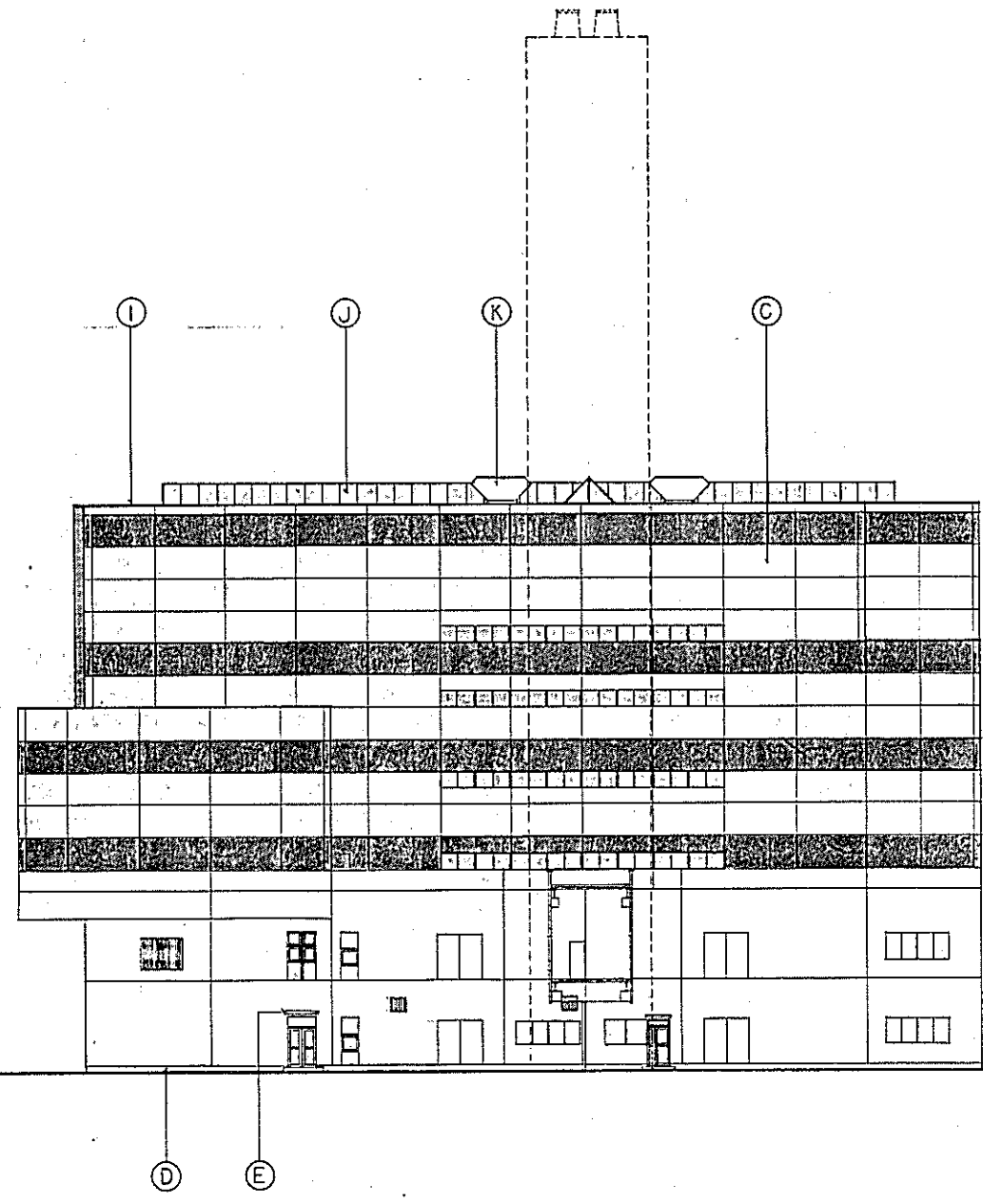


屋根伏図(1:200)

※特記なき寸法は、100φとする。



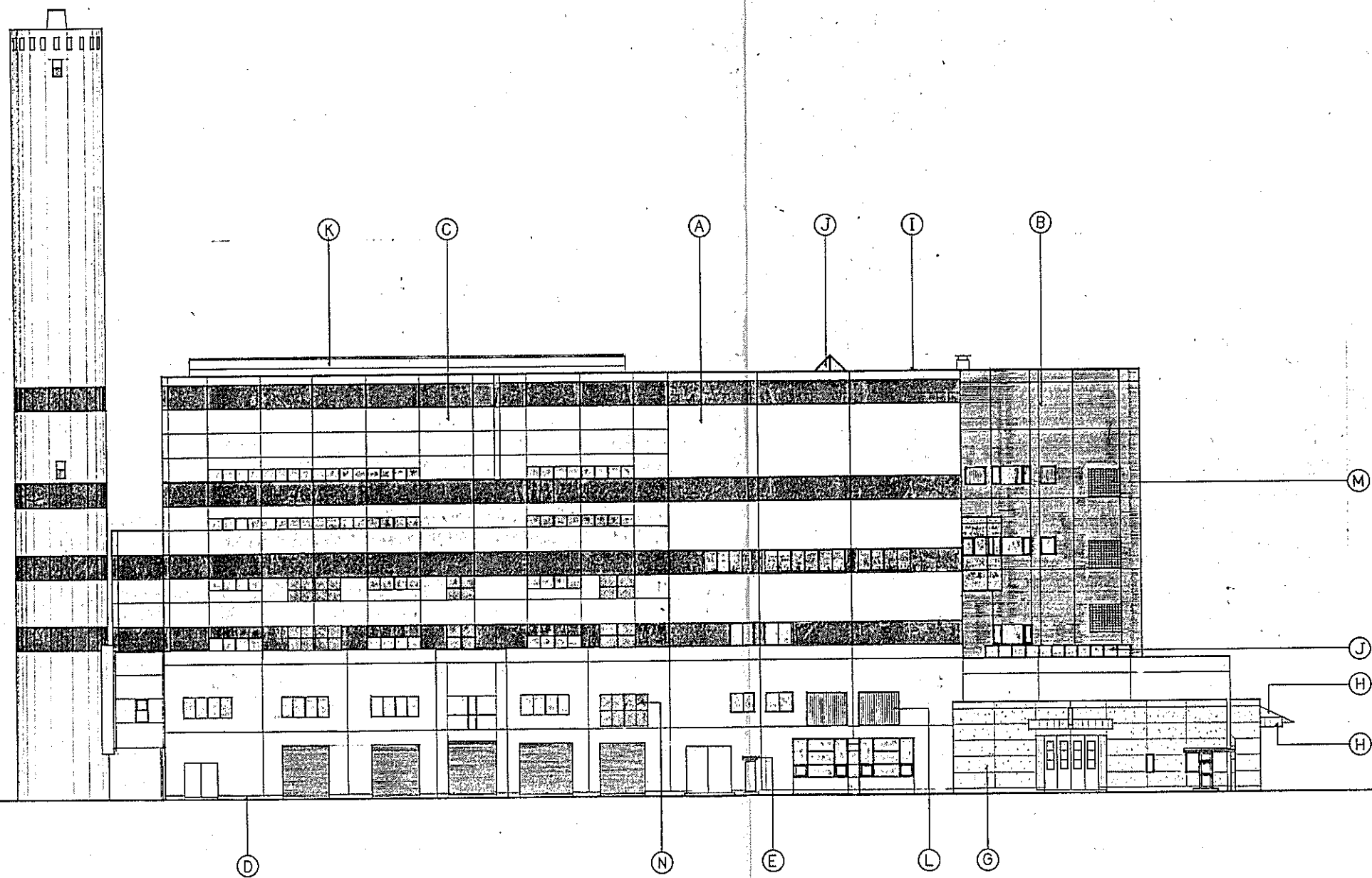
南側立面図(1:200)



西側立面図(1:200)

外部仕上表

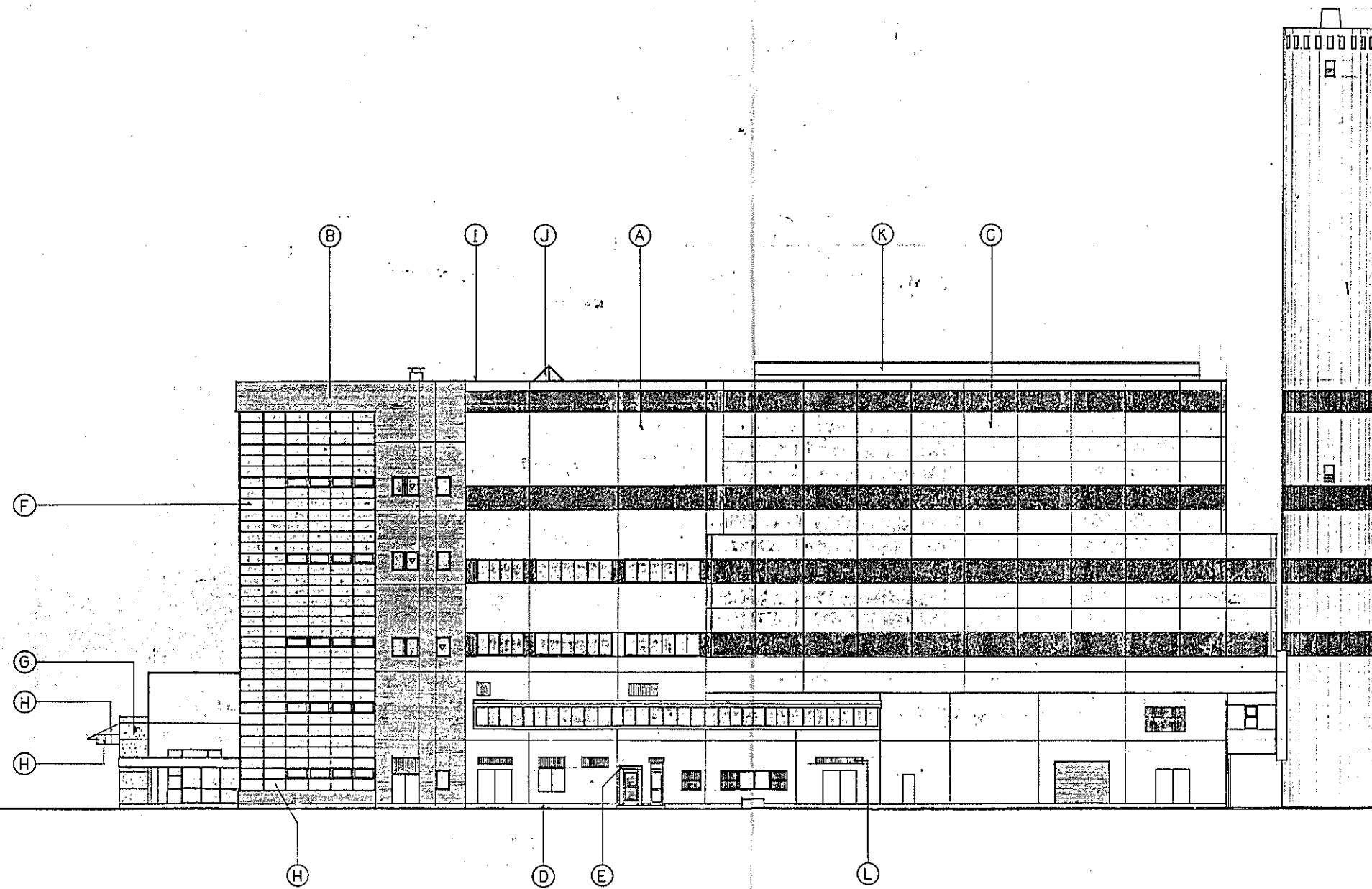
(A)	コンクリート打放し(増付1=20)ノ上 弾性アクリル樹脂系吹付タイル	(I)	カラーアルミサッシ
(B)	コンクリート打放し(増付1=20)ノ上 外装タイル	(J)	トップライト
(C)	ALC版大型パネル1=125弾性アクリル樹脂系吹付タイル	(K)	ベンチレーター
(D)	コンクリート打放し(増付1=20)ノ上 H=300	(L)	イルミルバー
(E)	弾性アクリル樹脂系吹付タイル	(M)	ガラスドア
(F)	カーテンウォール	(N)	荷重ネット
(G)	自然石調厚付吹付タイル		
(H)	アルミパネル		



南側立面図(1:200)

外部仕上表

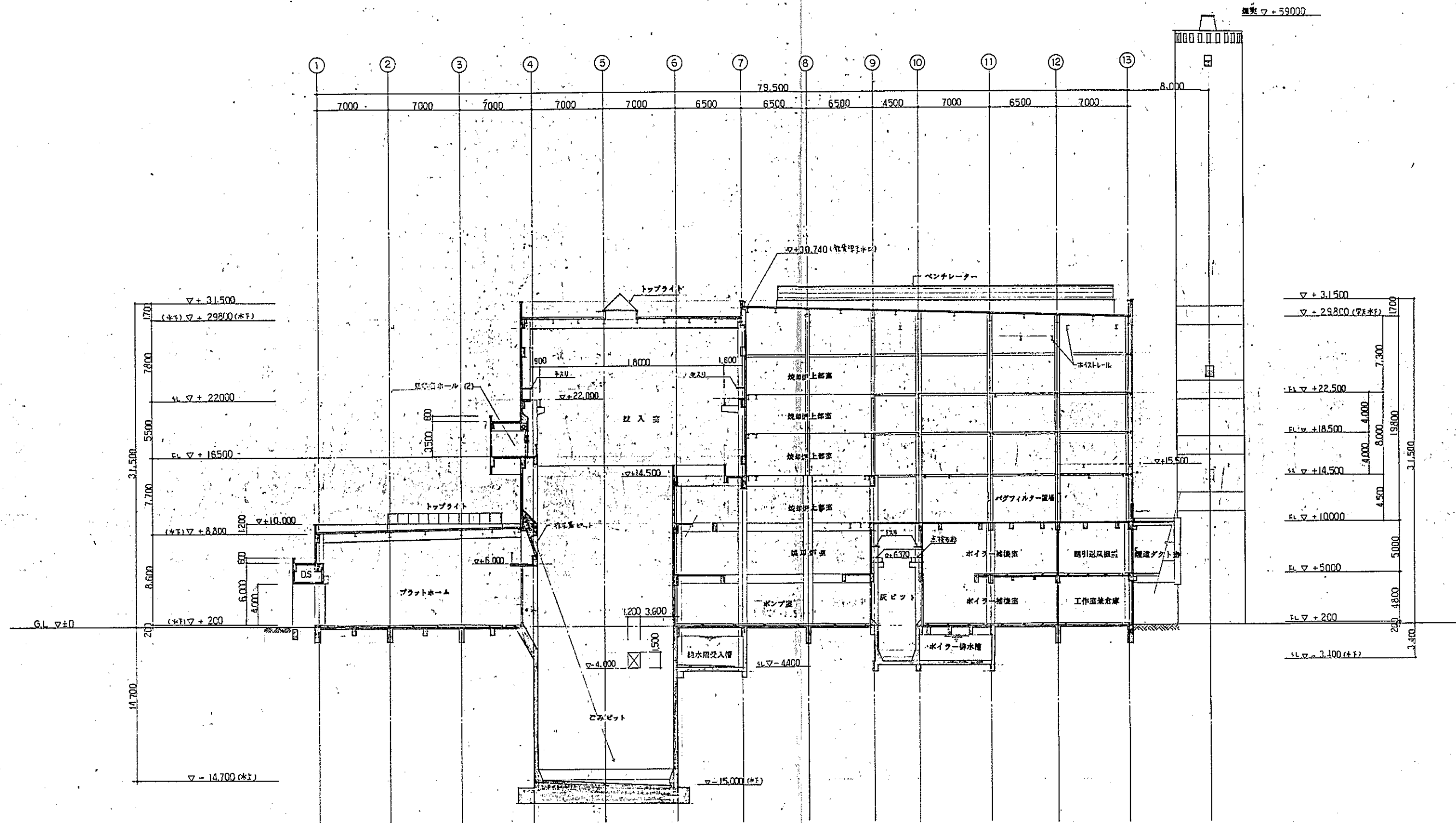
(A)	コンクリート打放し(厚1=20)ノ上 特殊コンクリート耐塩素吹付タイル	(I)	ガラスミニ管束
(B)	コンクリート打放し(厚1=20)ノ上 外装タイル (95 X 45)	(J)	トッポライト
(C)	ALC板大型パネル1=125 特殊777の耐塩素吹付タイル	(K)	ベンチレーター
(D)	コンクリート打放し(厚1=20)ノ上目地分レH=300	(L)	アルミルーバー
(E)	特殊777の耐塩素吹付タイル	(M)	ガラスブロック
(F)	カーテンウォール	(N)	防鳥ネット
(G)	自然石調厚付吹付板		
(H)	アルミパネル		



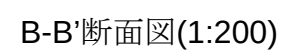
北側立面図(1:200)

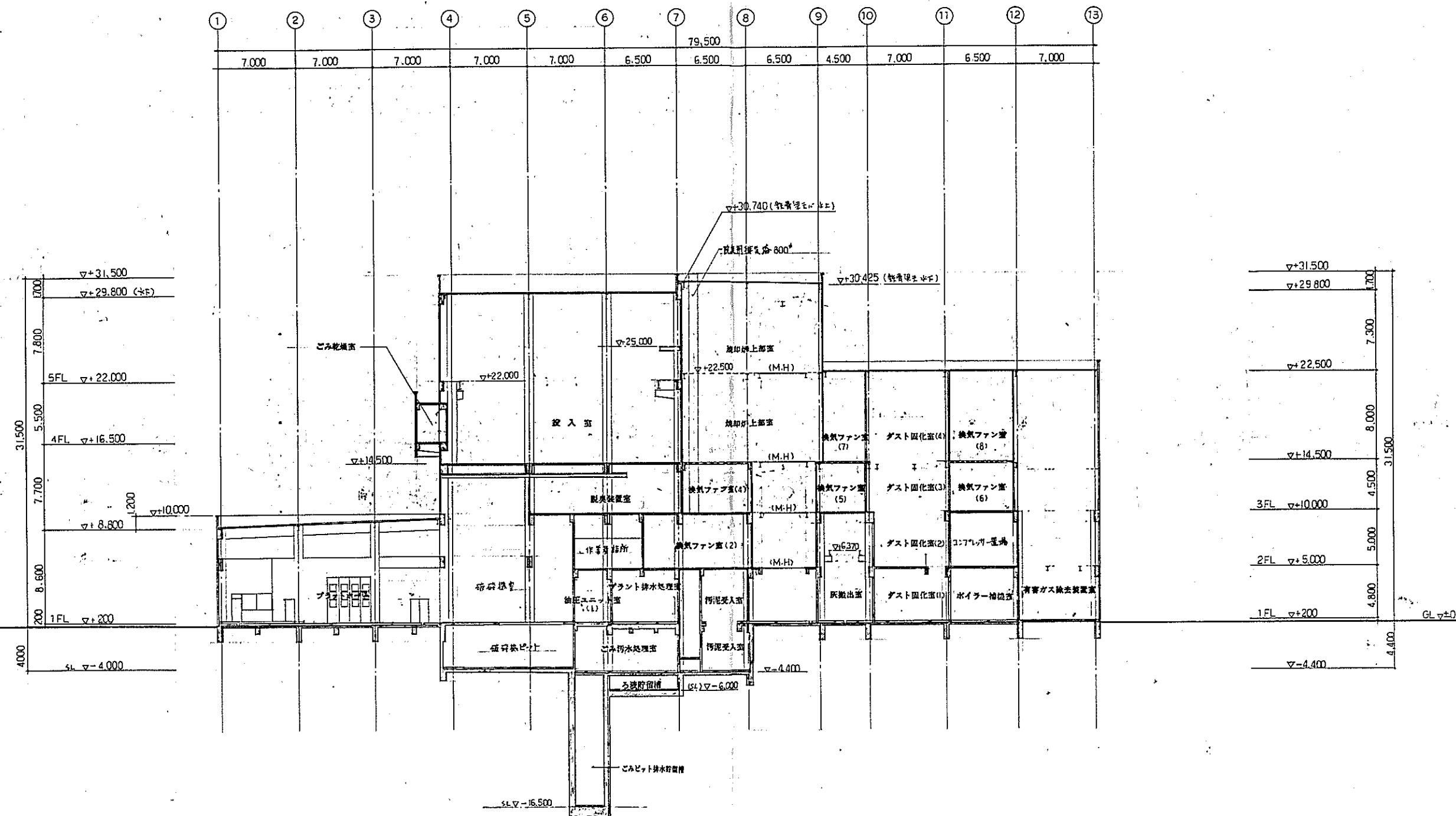
外部仕上表

①	コンクリート打設(層高1=20)ノ上 弾性アクリル樹脂系吹付タイル	⑤	カラーアルミ箔
②	コンクリート打設(層高1=20)ノ上 外装タイル (95×45)	⑥	トッポライト
③	ALC版大壁パネル(125弾性アクリル樹脂系吹付タイル	⑦	ペンシレーター
④	コンクリート打設(層高1=20)ノ上目地色H-300	⑧	アルミルーバー
⑤	弾性アクリル樹脂系吹付タイル	⑨	ガラスブロック
⑥	ガーテンフェール	⑩	防鳥ネット
⑦	自然石積層吹付タイル		
⑧	アルミパネル		

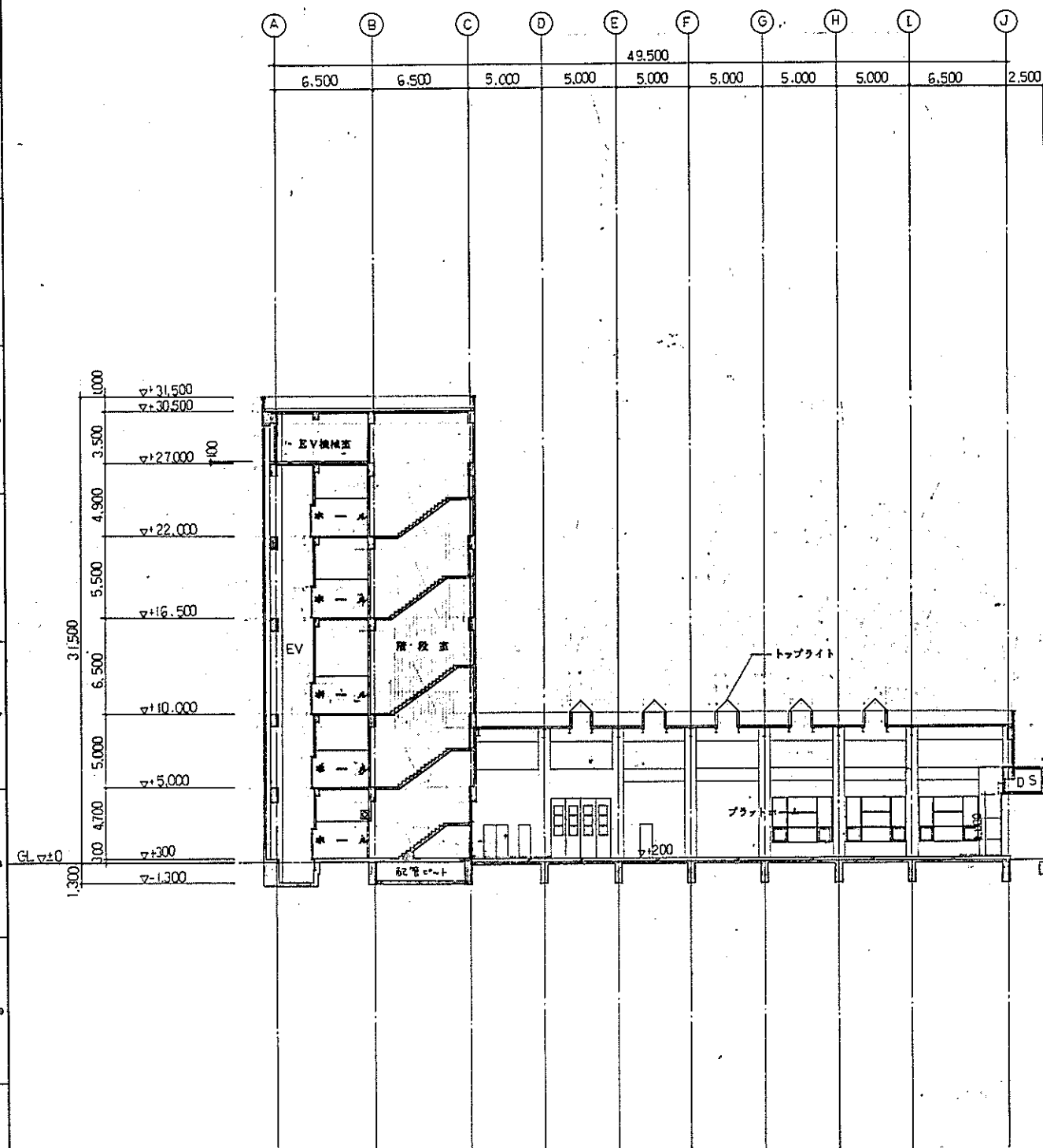


A-A'断面図(1:200)

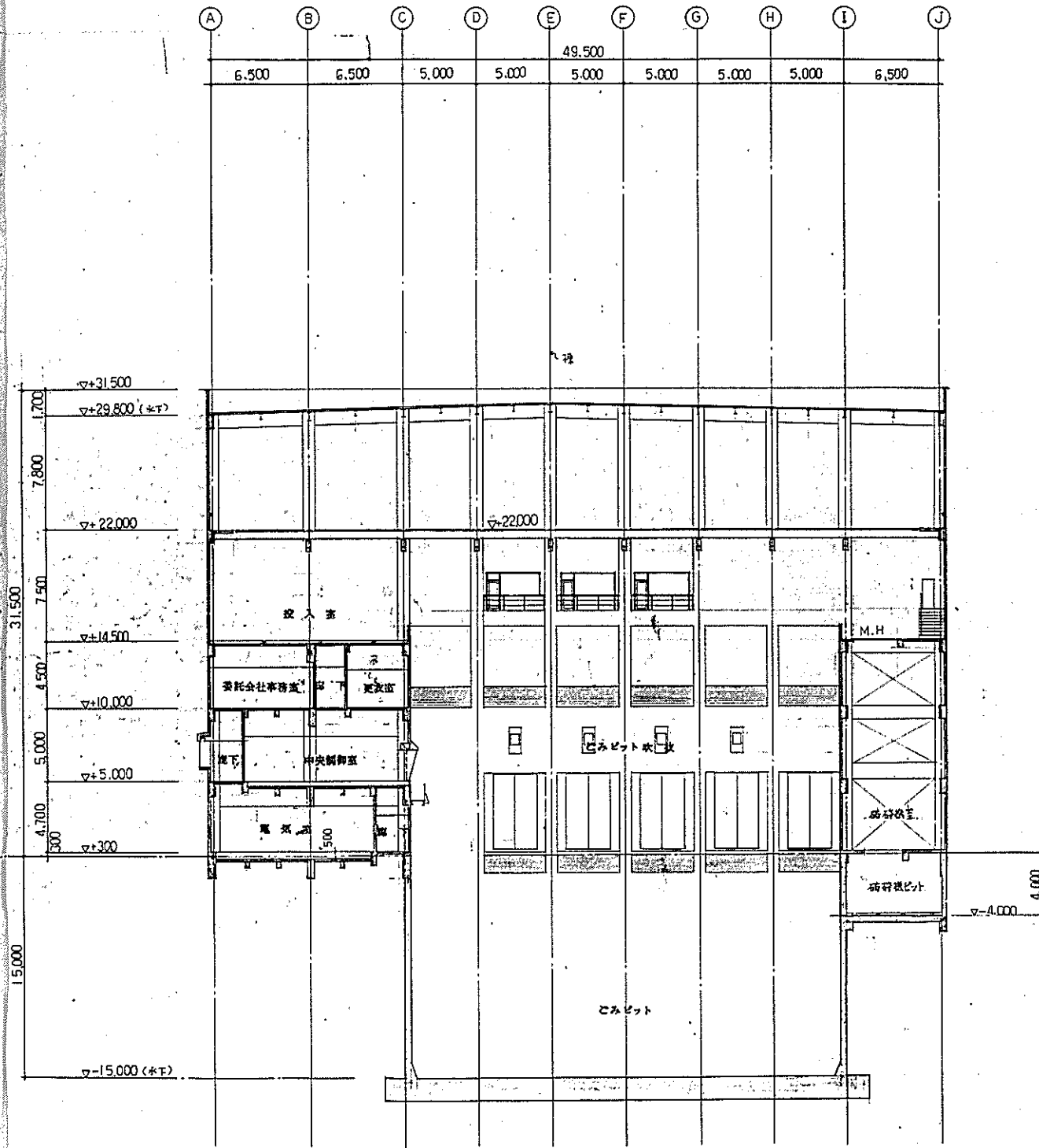




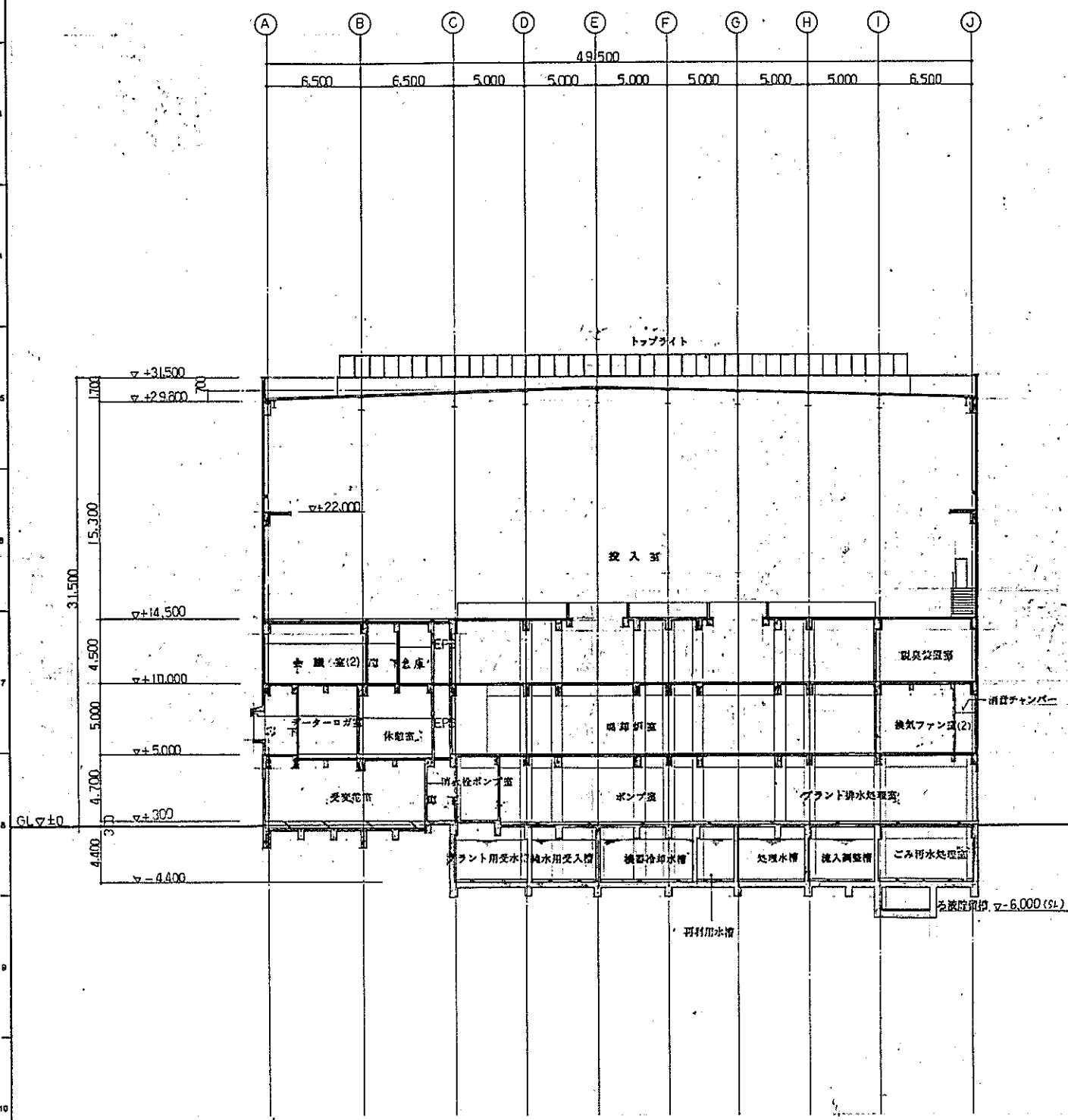
C-C'断面図(1:200)



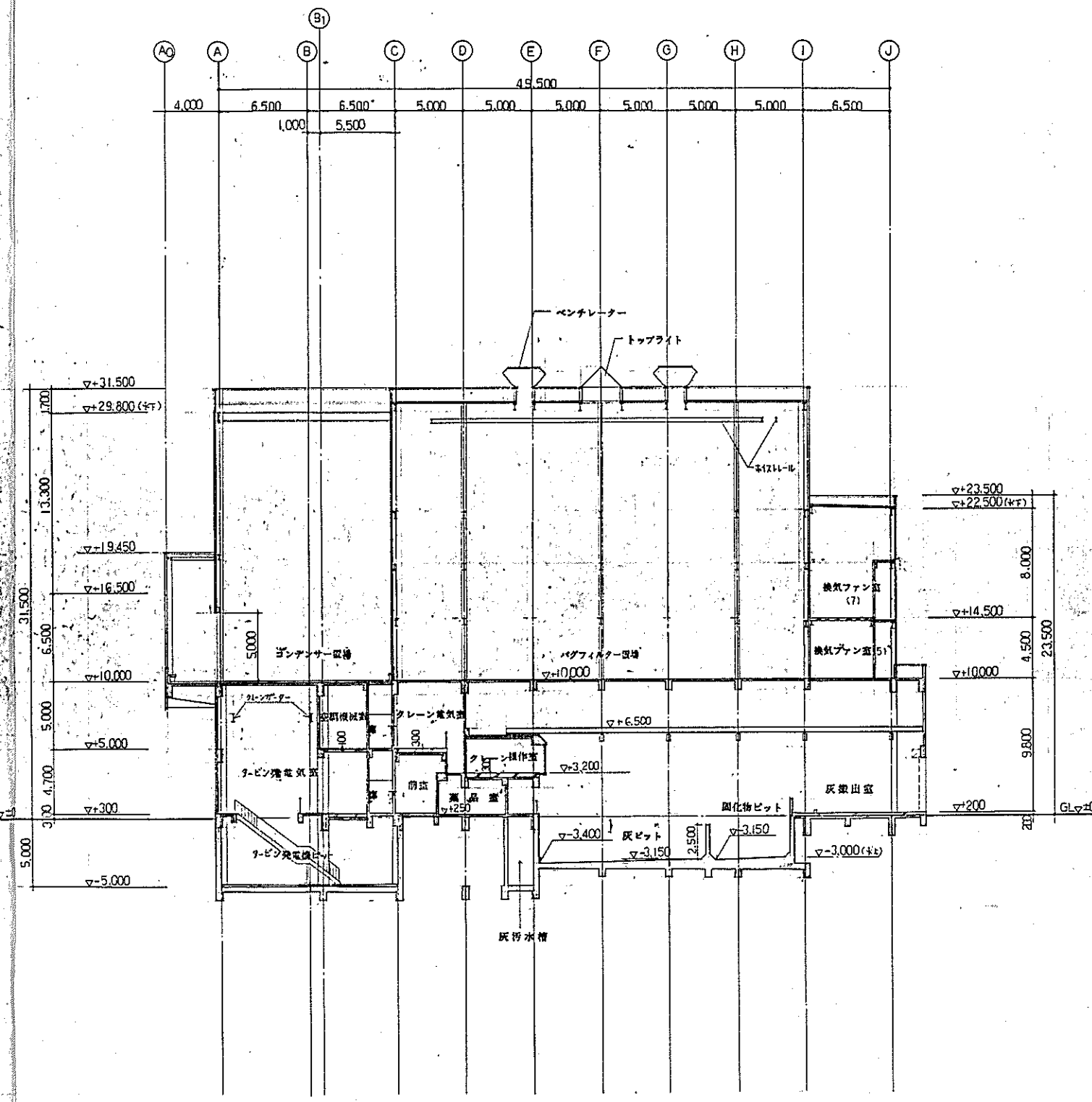
D-D'断面図(1:200)



E-E'断面図(1:200)



F-F'断面図(1:200)



G-G'断面図(1:200)

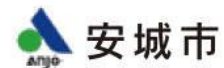
施設案内図



安城市環境クリーンセンター し尿処理施設

〒444-1221 愛知県安城市和泉町大下 38 番地
TEL/0566-92-0178 FAX/0566-92-0405

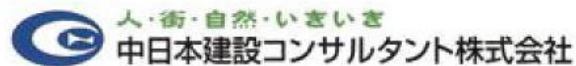
事業主体



安城市

〒446-8501 愛知県安城市桜町 18 番 23 号
TEL/0566-76-1111 FAX/0566-76-1112

施工監理



〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦一丁目 8 番 6 号
TEL/052-232-6046 FAX/052-221-7832

設計・施工



〒661-8567 兵庫県尼崎市浜一丁目 1 番 1 号
TEL/06-6470-5000 FAX/06-6470-5929

安城市環境クリーンセンター
し尿処理施設



自然環境との調和をはかり、環境保全に万全な運営・管理に努めます。

施設の特徴

汚泥再生処理センターへの改造

昭和62年3月に稼働した安城市環境クリーンセンターは、し尿処理施設の建物を利用し、プラント設備の更新等を行いながら、新しい処理方式を導入した汚泥再生処理センターとして生まれ変わりました。

脱水汚泥の助燃剤化

脱水汚泥は、最新鋭の高性能脱水機により含水率を70%以下にして助燃剤化され、環境クリーンセンターの焼却施設の助燃剤として有効活用を図ります。

環境にやさしい施設

処理工程で発生する臭気は、薬品洗浄と活性炭吸着方式を組み合わせることで万全な臭気対策を行っています。



生物酸化処理設備

微生物の酸化作用により、難分解性CODの除去をします。前脱水からの分離液は、返送汚泥などとともに混合・曝気されます。この際、微生物たちの働きを最大限に高めるため、槽内の状態はコンピュータによって監視されています。



■生物酸化槽(上部)



■沈殿槽(上部)

脱臭設備

施設で発生する臭気は、吸引・捕集して、外部はもちろん場内にも拡散しないようにしています。捕集された臭気は臭いの強さに合わせて、薬品洗浄、活性炭吸着処理を組み合わせることで効率的に処理を行い、大気に放出しています。



■水洗浄塔・アルカリ次亜カーボン洗浄塔



■活性炭吸着塔

中央監視



■中央監視室

中央監視室では、全ての設備を集中監視しています。監視画面には各機器の状態が表示され、各設備の運転状況などが監視されています。

水質試験



■水質試験室

放流水の水質分析を行い、安定した処理が行われているか、確認します。

受入から下水道放流まで、水処理設備の適切を期した施設です。

主な設備

受入・前処理設備

し尿・浄化槽汚泥は、受入室内の受入口から投入され、砂・小石等を除去し、さらに夾雑物除去装置によりし渣を除去した後に貯留します。し渣は、夾雑物脱水装置で脱水した後、場外搬出されます。し渣を除去したし尿・浄化槽汚泥は前脱水設備へ送られます。



搬入し尿等計量装置



受入室



夾雑物除去装置



夾雑物脱水装置

前脱水設備（資源化設備）

除渣後のし尿と浄化槽汚泥を、中継槽から投入ポンプで凝集槽に送ります。その後、濃縮機、汚泥脱水機で助燃剤の条件となる含水率70%以下まで脱水することにより、汚泥を減量化および助燃剤化します。脱水ろ液は脱水分離液貯留槽に、助燃剤は脱水汚泥ホツパへ移送されます。



濃縮機



脱水汚泥ホツパ



脱水機



助燃剤

施設概要

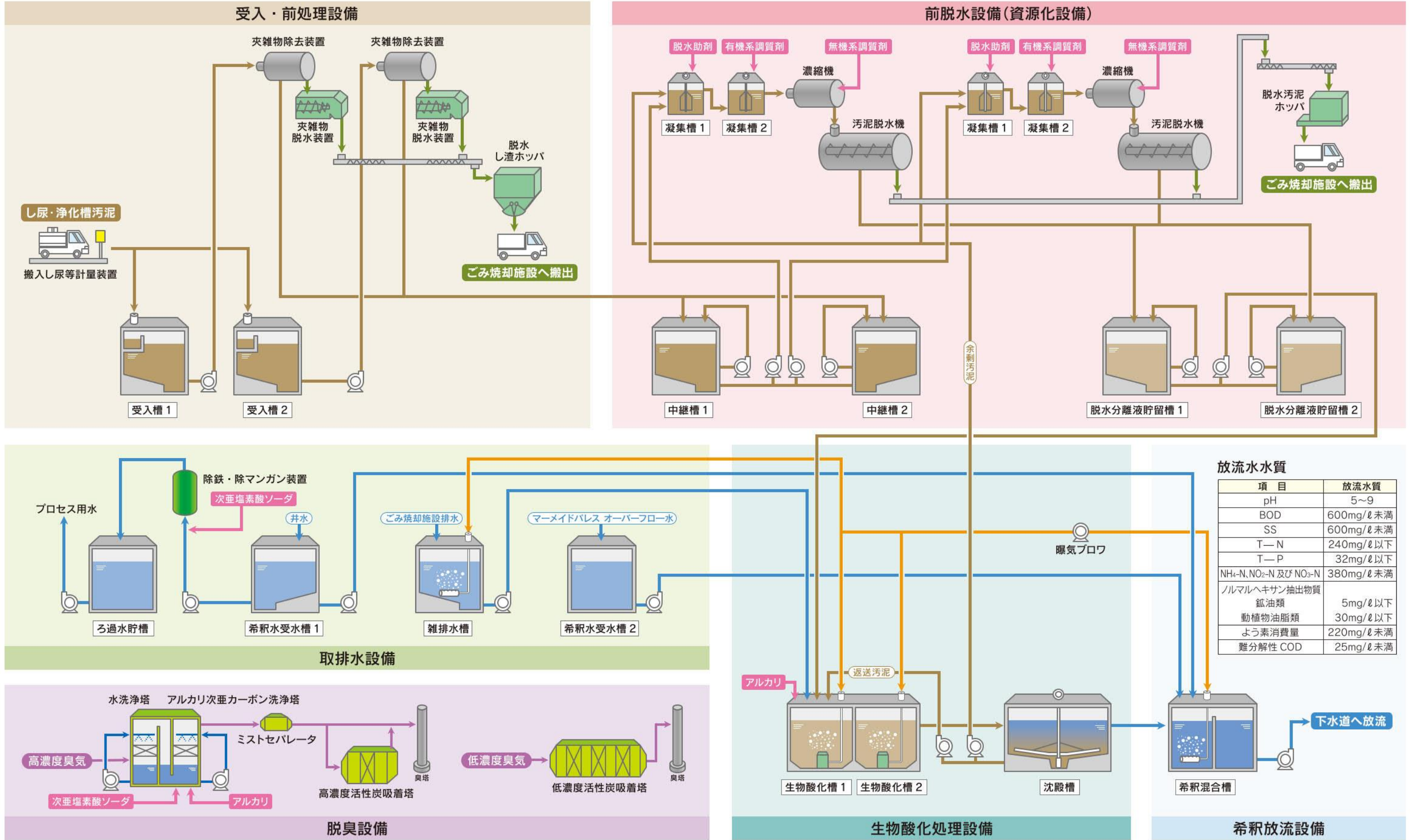
- 施設名称：安城市環境クリーンセンターし尿処理施設
- 所在地：愛知県安城市和泉町天下 38 番地
- 敷地面積：48,573.94m²
- 建築面積：2,756m²
- 延床面積：4,541m²
- 処理能力：102 kl/日
(し尿 7 kl/日、浄化槽汚泥 95 kl/日)
- 水処理方式：前処理・前脱水方式+生物酸化処理方式
(下水道放流)
- 資源化方式：助燃剤化
(環境クリーンセンター内の焼却施設で有効利用)
- 工期：平成 27 年 6 月～平成 29 年 2 月

施設配置図



し尿と浄化槽汚泥は破碎・脱水し、その脱水分離液を希釈して下水道に放流します。
脱水した汚泥は、助燃剤として焼却施設で再利用します。

処理フローシート



安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設
可燃ごみ搬入量（実績）

（単位：kg）

月	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	4,001,190	3,640,910	4,302,850
5月	4,474,570	4,431,690	4,298,950
6月	4,263,310	4,367,620	3,979,080
7月	4,582,570	4,260,850	4,760,660
8月	4,706,210	4,464,610	4,065,820
9月	4,663,360	4,272,190	4,336,540
10月	4,445,480	4,579,320	4,649,930
11月	4,270,610	4,129,600	4,157,960
12月	4,276,090	4,160,930	4,373,080
1月	3,836,080	3,880,260	3,868,770
2月	3,288,240	3,510,480	3,206,660
3月	3,835,130	3,505,180	3,670,750
合計	50,642,840	49,203,640	49,671,050
最大	4,706,210	4,579,320	4,760,660
最小	3,288,240	3,505,180	3,206,660
平均	4,220,237	4,100,303	4,139,254